

予算	会計	一般会計		予算区分		現年	
	款	09 消防費	項	01 消防費	目	01 常備消防費	
事業名	庁舎維持管理費			担当課	消防署	予算書頁	P150
R7当初予算額(A)		R6当初予算額(B)		増減額(C)=(A)-(B)		増減率(D)=(C)/(B)	
13,109千円		12,696千円		413千円		3.3%	
予算額の財源内訳							
国・県(E)		市債(F)		その他(G)		一般財源(A-E-F-G)	
0千円		0千円		0千円		13,109千円	
【事業の目的】							
消防庁舎の維持管理、修繕及び消耗品の購入など、職員の働く環境の整備を行う。							
【事業の概要】							
○消耗品費 56千円							
○燃料費 1,264千円							
○光熱水費 4,111千円							
○修繕料 750千円							
○手数料 66千円							
○委託料 4,966千円							
○使用料及び賃借料 1,896千円							
【財源内訳】							
○ー							
【主な内容】							
①庁舎維持管理							
庁舎の経年劣化に伴う修繕、設備点検や清掃の委託に係る経費など、職員の働く環境の整備を図る。							
②光熱水費、各種使用料							
日々の業務で要する光熱水費等を支払う。							
③借地料							
庁舎及び分団庫の借地に係る借地料を支払う。							
④修繕料							
庁舎内の誘導灯をはじめとする照明設備のLED化を行う。							

予算	会計	一般会計		予算区分		現年	
	款	09 消防費	項	01 消防費	目	01 常備消防費	
事業名	職員研修費			担当課	消防署		予算書頁 P150
R7当初予算額 (A)		R6当初予算額 (B)		増減額 (C) = (A) - (B)		増減率 (D) = (C) / (B)	
355千円		421千円		△ 66千円		△ 15.7%	
予算額の財源内訳							
国・県 (E)		市債 (F)		その他 (G)		一般財源 (A-E-F-G)	
0千円		0千円		0千円		355千円	
【事業の目的】 消防学校での教育、各種研修会等に参加することにより、現場活動や違反是正などに必要な知識、技術を習得し、適切な消防業務を行う。							
【事業の概要】 ○旅費 49千円 ○負担金 306千円							
[財源内訳] ○ー							
[主な内容] ①消防学校初任科教育負担金 県消防学校において半年間、新採用職員が消防士としての基本的な知識と技術を習得するための教育を受講する。 ②職員研修負担金 消防学校等で開講される各種専科教育を受講し、職員の質の向上を図る。 ③各種技能講習の受講 大雪時の緊急出動、災害時に対応するため、ホイールローダーの運転技能講習を受講する。							

予算	会計		一般会計		予算区分		現年	
	款	09 消防費	項	01 消防費	目	01 常備消防費		
事業名	常備消防諸経費			担当課	消防署		予算書頁	P151
R7当初予算額(A)		R6当初予算額(B)		増減額(C)=(A)-(B)		増減率(D)=(C)/(B)		
4,786千円		14,375千円		△ 9,589千円		△ 66.7%		
予算額の財源内訳								
国・県(E)		市債(F)		その他(G)		一般財源(A-E-F-G)		
0千円		0千円		368千円		4,418千円		
【事業の目的】								
消防業務を的確に遂行し、各種分科会や総会等への参加及び各種防火団体との連携により、火災予防対策の強化を図る。								
【事業の概要】								
○報償費		146千円		○旅費		80千円		
○消耗品費		901千円		○印刷製本費		45千円		
○通信運搬費		2,624千円		○手数料		11千円		
○使用料及び賃借料		716千円		○予防資材代		20千円		
○備品購入費		28千円		○負担金		215千円		
【財源内訳】								
○行政財産目的外使用料		132千円						
○危険物施設許認可手数料等		200千円						
○自動販売機設置・電気料等		36千円						
【主な内容】								
①一般事務用経費								
各種事務処理作業に要する消耗品等を購入する。								
②通信運搬費								
電話代、119通報システムの利用料等に係る経費を支払う。								
③システム使用料 【新規】 [30千円]								
庁舎のペーパーレス化に対応するため、「support119」を導入し業務の効率化を図る。								
④総会、分科会等旅費及び負担金								
各種分科会、消防長会等の各種団体に係る負担金を支払う。								

予算	会計	一般会計		予算区分		現年																					
	款	09 消防費	項	01 消防費	目	01 常備消防費																					
事業名	常備車両等管理費			担当課	消防署		予算書頁 P151																				
R7当初予算額(A)		R6当初予算額(B)		増減額(C)=(A)-(B)		増減率(D)=(C)/(B)																					
3,663千円		3,552千円		111千円		3.1%																					
予算額の財源内訳																											
国・県(E)		市債(F)		その他(G)		一般財源(A-E-F-G)																					
0千円		0千円		0千円		3,663千円																					
【事業の目的】 常備消防車両等の維持管理運用並びに消防活動に必要な備品を整備することにより、様々な災害に対応した迅速な出動、安全及び確実な現場活動を行う。																											
【事業の概要】 ○消耗品費 302千円 ○燃料費 1,214千円 ○修繕料 1,415千円 ○手数料 277千円 ○備品購入費 142千円 ○公課費 313千円																											
[財源内訳] ○ー																											
[主な内容] ①消防車両維持管理 消防車両の車検、メンテナンスや不良箇所の修繕などを実施し現場活動に備える。 ②機械器具の購入・修繕 現場活動に必要な機械器具の購入・修繕を実施し適切な現場活動を行う。																											
<table><tr><th>区 分</th><th>消防本部・署</th></tr><tr><td>普通ポンプ車</td><td>2台</td></tr><tr><td>水槽付きポンプ車</td><td>1台</td></tr><tr><td>多目的ポンプ車</td><td>1台</td></tr><tr><td>救助工作車</td><td>1台</td></tr><tr><td>救急車</td><td>3台（予備車含む）</td></tr><tr><td>指令・指揮車</td><td>2台</td></tr><tr><td>広報車</td><td>2台</td></tr><tr><td>作業車</td><td>1台</td></tr><tr><td>軽可搬ポンプ</td><td>2台</td></tr></table>								区 分	消防本部・署	普通ポンプ車	2台	水槽付きポンプ車	1台	多目的ポンプ車	1台	救助工作車	1台	救急車	3台（予備車含む）	指令・指揮車	2台	広報車	2台	作業車	1台	軽可搬ポンプ	2台
区 分	消防本部・署																										
普通ポンプ車	2台																										
水槽付きポンプ車	1台																										
多目的ポンプ車	1台																										
救助工作車	1台																										
救急車	3台（予備車含む）																										
指令・指揮車	2台																										
広報車	2台																										
作業車	1台																										
軽可搬ポンプ	2台																										

予算	会計		一般会計		予算区分		現年	
	款	09 消防費	項	01 消防費	目	02 救急業務費		
事業名	救急業務費			担当課	消防署		予算書頁	P152
R7当初予算額(A)		R6当初予算額(B)		増減額(C)=(A)-(B)		増減率(D)=(C)/(B)		
4,033千円		3,275千円		758千円		23.1%		
予算額の財源内訳								
国・県(E)		市債(F)		その他(G)		一般財源(A-E-F-G)		
0千円		0千円		0千円		4,033千円		
【事業の目的】								
救急資器材の維持管理、各種消耗品の充実並びに出動隊員の育成を行い、適切な現場活動に資する。								
【事業の概要】								
○報償費		17千円		○旅費		39千円		
○消耗品費		427千円		○燃料費		848千円		
○修繕料		360千円		○通信運搬費		123千円		
○手数料		424千円		○保険料		38千円		
○委託料		555千円		○使用料及び賃借料		2千円		
○訓練用資材代		4千円		○備品購入費		1,036千円		
○負担金		160千円						
[財源内訳]								
○ー								
[主な内容]								
①救急、救助事案への対応								
救急資器材の維持管理や出動に係る機械器具や消耗品等を適切に配備し、現場活動に対応する。								
②各種研修、講習への参加								
現場活動に必要な知識、技術を習得するための研修や講習に参加し、現場活動に資する。								
救急件数(1月から12月)								
R3		R4		R5		R6		R7
863件		930件		930件		1022件		ー

予算	会計		一般会計		予算区分		現年	
	款	09 消防費		項	01 消防費		目	02 救急業務費
事業名	救急対策事業費				担当課	消防署		予算書頁 P153
R7当初予算額(A)		R6当初予算額(B)		増減額(C)=(A)-(B)		増減率(D)=(C)/(B)		
413千円		3,406千円		△ 2,993千円		△ 87.9%		
予算額の財源内訳								
国・県(E)		市債(F)		その他(G)		一般財源(A-E-F-G)		
0千円		0千円		0千円		413千円		
【事業の目的】 救急救命士の育成に係る気管挿管実習及び医療機関と連携したクラウド救急医療連携システムを利用することで、救急体制の充実を図る。								
【事業の概要】 ○消耗品費 9千円 ○手数料 8千円 ○委託料 4千円 ○負担金 392千円								
[財源内訳] ○ー								
[主な内容] ①救急救命士気管挿管実習 救急救命士のビデオ喉頭鏡による気管挿管実習を行い救急活動の向上を図る。 ②クラウド救急医療連携システム負担金 12誘導心電図及び画像伝送のシステムを活用することで、適正な医療機関への搬送を行う。								
クラウド救急医療連携システム活用実績(1月～12月)								
R3		R4		R5		R6		R7
41件		40件		30件		71件		—

予算	会計		一般会計		予算区分		現年			
	款	09 消防費	項	01 消防費	目	03 非常備消防費				
事業名	消防団員等報酬費				担当課	消防署	予算書頁	P153		
R7当初予算額(A)		R6当初予算額(B)		増減額(C)=(A)-(B)		増減率(D)=(C)/(B)				
12,328千円		12,328千円		0千円		0.0%				
予算額の財源内訳										
国・県（E）		市債（F）		その他（G）		一般財源（A-E-F-G）				
0千円		0千円		0千円		12,328千円				
【事業の目的】										
消防団活動に従事する消防団員に年額報酬及び出動報酬を支給する。										
【事業の概要】										
○報酬 12,328千円										
[財源内訳]										
○－										
[主な内容]										
①消防団員年額報酬 消防団員に対して年額報酬を支給する。										
②出動報酬 火災等の出動に対し、出動報酬を支給する。										
消防団員の配置（定員299名）										
令和7年1月1日現在										
区 分	団 長	副団長	分団長	副分団長	部 長	班 長	団 員	計	平均年齢	平均勤続
役員基本団員	1	2	12	12	25	33	193	291	48.72	15.55
役員補佐別団員							8			
本 部	1	2			1	2	19	27	53.72	10.81
機能別職員							2			
特設分団			1	1	2	2	14	20	49.30	21.69
第1分団			1	1	2	2	14	20	45.02	17.02
第2分団			1	1	2	2	14	20	47.73	18.04
第3分団			1	1	2	2	16	22	49.34	14.77
第4分団			1	1	2	3	18	25	44.18	12.40
第5分団			1	1	2	2	3	14	54.13	11.54
機能別サポート職員							5	14		
第6分団			1	1	2	3	20	27	47.88	15.44
第7分団			1	1	2	3	18	25	47.35	15.20
第8分団			1	1	2	3	18	25	48.91	16.11
第9分団			1	1	2	3	14	22	47.30	14.32
機能別サポート職員							1	22		
第10分団			1	1	2	3	18	25	50.90	19.33
第11分団			1	1	2	3	12	19	48.69	14.75

予算	会計	一般会計			予算区分		現年		
	款	09 消防費		項	01 消防費		目	03 非常備消防費	
事業名	消防団活動費				担当課	消防署		予算書頁	P153
R7当初予算額(A)		R6当初予算額(B)			増減額(C)=(A)-(B)		増減率(D)=(C)/(B)		
14,185千円		14,102千円			83千円		0.6%		
予算額の財源内訳									
国・県(E)		市債(F)			その他(G)		一般財源(A-E-F-G)		
0千円		0千円			0千円		14,185千円		
【事業の目的】 消防操法大会及び各種研修会への参加など、消防団の活動を充実させ、消防体制の向上を図る。									
【事業の概要】 ○報償費 201千円 ○旅費 6,210千円 ○消耗品費 630千円 ○食糧費 50千円 ○印刷製本費 18千円 ○使用料及び賃借料 136千円 ○備品購入費 103千円 ○負担金 6,837千円									
[財源内訳] ○—									
[主な内容] ①費用弁償 訓練、警戒等に参加した際の手当を支給する。 ②消耗品費 消防団員の被服等を購入する。 ③負担金 消防団員の教育や公務災害補償等共済掛金に係る負担金を支払う。									

予算	会計		一般会計		予算区分		現年	
	款	09 消防費		項	01 消防費		目	03 非常備消防費
事業名	非常備車両等管理費				担当課	消防署		予算書頁 P154
R7当初予算額(A)		R6当初予算額(B)		増減額(C)=(A)-(B)		増減率(D)=(C)/(B)		
1,486千円		2,206千円		△ 720千円		△ 32.6%		
予算額の財源内訳								
国・県(E)		市債(F)		その他(G)		一般財源(A-E-F-G)		
0千円		0千円		0千円		1,486千円		
【事業の目的】								
非常備消防車両等の維持管理、運用を行い、消防団員が災害に出動し迅速に対応できるよう備える。								
【事業の概要】								
○消耗品費		104千円						
○燃料費		222千円						
○修繕料		998千円						
○公課費		162千円						
【財源内訳】								
○ー								
【主な内容】								
①消防団車両維持管理 消防団車両の車検メンテナンスや不良個所の修繕などを行い、現場活動に備える。								
②可搬式ポンプマフラー取替修繕 腐食により破損している各分団車積載の可搬式ポンプマフラーについて、計画的に取替修繕を実施する。								
消防団保有車両、ポンプ								
普通ポンプ車				2台				
積 載 車				12台				
小型動力ポンプ				12台				
消防団出動件数 (R5. 4. 1～R6. 3. 31)								
出動種別		件 数		出動団車両延台数				
火 災		2件		8台				
救 助		0件		0台				
水 防		1件		12台				
警 戒		6件		192台				
車両点検		145件		145台				
教養訓練		134件		101台				

予算	会計		一般会計		予算区分		現年	
	款	09 消防費	項	01 消防費	目	04 消防施設費		
事業名	消防施設維持管理整備費			担当課	消防署		予算書頁	P154
R7当初予算額(A)		R6当初予算額(B)		増減額(C)=(A)-(B)		増減率(D)=(C)/(B)		
6,619千円		6,611千円		8千円		0.1%		
予算額の財源内訳								
国・県（E）		市債（F）		その他（G）		一般財源（A-E-F-G）		
0千円		5,100千円		0千円		1,519千円		
【事業の目的】								
消火栓看板の補修、自衛消防隊の可搬式ポンプの更新及び各地区の消火栓ホース等の消防施設の整備に対する助成を行うことで、火災発生時の消火活動を適切に行う。								
【事業の概要】								
○補修用資材代		398千円						
○備品購入費		6,050千円						
○補助金		171千円						
【財源内訳】								
○緊急防災・減災事業債（消防施設整備事業）		5,100千円						
【主な内容】								
①可搬式動力ポンプ一式購入5地区（令和6年度5地区購入） 狭隘地に適した小型ポンプに更新する。								
②消火栓標識の補修 老朽化した消火栓標識を補修し、火災発生時に迅速に水利確保ができるよう備える。								
③自衛消防整備事業補助金 各地区の消火栓ホース等の施設整備に対して助成を行う。								
自衛消防整備事業補助金 補助率								
小型動力消防ホース				購入価格の2/3				
消火栓器具一式				購入価格の2/3				
消火栓用ホース				購入価格の2/3				
金属製屋外用消火栓箱				購入価格の2/3				
小型動力消防ポンプ格納庫				工事費の1/3以内 15万円を上限				
ホース乾燥柱一式				工事費の1/3以内 10万円を上限				

予算	会計		一般会計		予算区分		現年	
	款	09 消防費	項	01 消防費	目	04 消防施設費		
事業名	水道会計消火栓負担金			担当課	消防署		予算書頁	P154
R7当初予算額(A)		R6当初予算額(B)		増減額(C)=(A)-(B)		増減率(D)=(C)/(B)		
4,480千円		4,480千円		0千円		0.0%		
予算額の財源内訳								
国・県(E)		市債(F)		その他(G)		一般財源(A-E-F-G)		
0千円		0千円		0千円		4,480千円		
【事業の目的】								
消火栓について、既設消火栓の不良箇所修繕等の維持管理、地域事情の変化に対応した新規設置及び移設等を行う。								
【事業の概要】								
○負担金 4,480千円								
[財源内訳]								
○ー								
[主な内容]								
①消火栓維持、設置負担金								
消火栓の維持管理費及び消火栓の新設、移設に係る負担金を支払う。								

予算	会計	一般会計		予算区分		現年	
	款	09 消防費	項	01 消防費	目	04 消防施設費	
事業名	【新規】救急業務高度化整備促進事業費			担当課	消防費		予算書頁 P154
R7当初予算額 (A)		R6当初予算額 (B)		増減額 (C) = (A) - (B)		増減率 (D) = (C) / (B)	
36, 634千円		0千円		36, 634千円		新規	
予算額の財源内訳							
国・県 (E)		市債 (F)		その他 (G)		一般財源 (A-E-F-G)	
0千円		34, 600千円		0千円		2, 034千円	
【事業の目的】							
平成19年度に整備した高規格救急自動車の老朽化に伴い、車両を更新する。							
【事業の概要】							
○手数料 101千円							
○備品購入費 36, 500千円							
○公課費 33千円							
[財源内訳]							
○緊急防災・減災事業債（救急業務高度化整備促進事業） 34, 600千円							
[主な内容]							
①高規格救急自動車更新							
平成19年度に整備した高規格救急自動車の老朽化に伴い、車両を更新する。							

予算	会計		一般会計		予算区分		現年					
	款	9	消防費		項	01	消防費		目	05	水防費	
事業名	水防活動費					担当課	消防署			予算書頁	P155	
R7当初予算額(A)			R6当初予算額(B)			増減額(C)=(A)-(B)			増減率(D)=(C)/(B)			
547千円			672千円			△ 125千円			△ 18.6%			
予算額の財源内訳												
国・県(E)			市債(F)			その他(G)			一般財源(A-E-F-G)			
0千円			0千円			0千円			547千円			
【事業の目的】												
水防活動に従事する消防団員の報酬並びに必要な資器材の維持管理整備を行い、水害に備える。												
【事業の概要】												
○報酬 264千円												
○旅費 160千円												
○消耗品費 70千円												
○水防資材代 53千円												
[財源内訳]												
○ー												
[主な内容]												
①水防団員出動報酬												
水害等の出動に対し、出動報酬を支給する。												
②費用弁償												
水防訓練等に参加した際に手当を支給する。												
③水防資材、消耗品代												
水防活動に必要な土嚢やその他の資材を購入する。												

予算	会計		一般会計		予算区分		現年	
	款	10 教育費	項	01 教育総務費	目	01 教育委員会費		
事業名	教育委員会運営費			担当課	教育総務課		予算書頁	P156
R7当初予算額(A)		R6当初予算額(B)		増減額(C)=(A)-(B)		増減率(D)=(C)/(B)		
1,892千円		1,904千円		△ 12千円		△ 0.6%		
予算額の財源内訳								
国・県(E)		市債(F)		その他(G)		一般財源(A-E-F-G)		
0千円		0千円		0千円		1,892千円		
【事業の目的】 教育の機会均等、教育の持続性、安全性を確保するとともに、教育水準の維持向上及び地域の実情に応じた教育の振興を図る為に教育委員会を運営する。								
【事業の概要】 ○報酬 1,776千円 ○旅費 18千円 ○交際費 70千円 ○消耗品費 11千円 ○通信運搬費 17千円								
[財源内訳] ○－								
[主な内容] ①教育委員会の開催 教育行政の推進の為、必要な事項について協議・決定する為に月1回定例教育委員会を開催する。（必要に応じ臨時会を開催） 教育委員5名（内1名教育長） ②教育委員会交際費 教育行政の円滑な執行を図るために、教育長等が教育委員会を代表して外部との交際を行う。								

予算	会計		一般会計		予算区分		現年	
	款	10 教育費	項	01 教育総務費	目	02 事務局費		
事業名	事務局諸経費			担当課	教育総務課	予算書頁	P157	
R7当初予算額(A)		R6当初予算額(B)		増減額(C)=(A)-(B)		増減率(D)=(C)/(B)		
17,407千円		17,062千円		345千円		2.0%		
予算額の財源内訳								
国・県(E)		市債(F)		その他(G)		一般財源(A-E-F-G)		
0千円		0千円		0千円		17,407千円		
【事業の目的】								
地域の实情に即した教育行政の推進をめざし、職員の適正配置や教育委員会関係組織における各種事務の遂行を行い、事務局業務の円滑な運営を図る。								
【事業の概要】								
○報酬		9,939千円		○職員手当等		3,809千円		
○共済費		2,308千円		○報償費		51千円		
○旅費		129千円		○消耗品費		724千円		
○燃料費		70千円		○食糧費		2千円		
○印刷製本費		14千円		○修繕料		10千円		
○通信運搬費		174千円		○手数料		11千円		
○使用料及び賃借料		22千円		○負担金		144千円		
[財源内訳]								
○ー								
[主な内容]								
①教育監の配置								
切れ目のない教育システムを構築するため、それぞれの年代を繋ぐための企画調整を行う有識者を配置する。中学校再編推進1名、幼小連携1名、中高連携1名。								
②教育長協議会、教育委員会連絡協議会等の活動								
教育行政の進展を図り、教育水準の向上に資する為に、県・東海北陸・全国で組織している各種協議会や教育長会議への参加、国への文教施策等に係る要望を行う。								

予算	会計		一般会計		予算区分		現年	
	款	10 教育費	項	01 教育総務費	目	03 教育指導費		
事業名	教育指導費			担当課	教育総務課	予算書頁	P157	
R7当初予算額(A)		R6当初予算額(B)		増減額(C)=(A)-(B)		増減率(D)=(C)/(B)		
46,171千円		46,288千円		△ 117千円		△ 0.3%		
予算額の財源内訳								
国・県(E)		市債(F)		その他(G)		一般財源(A-E-F-G)		
2,456千円		0千円		0千円		43,715千円		
【事業の目的】								
各小中学校が教育目標に掲げる学校づくりを推進する為に、教職員の資質向上や業務負担軽減、児童生徒の充実した学校生活や学習支援の実現に資する、適切な指導や支援等を図る。								
【事業の概要】								
○報酬 34,259千円 ○共済費 5,680千円								
○報償費 138千円 ○旅費 127千円								
○消耗品費 280千円 ○燃料費 38千円								
○通信運搬費 55千円 ○使用料及び賃借料 1,769千円								
○備品購入費 160千円 ○負担金 93千円								
○補助金 3,572千円								
【財源内訳】								
○補習等のための指導員等派遣事業補助金 2,397千円								
○学校基本調査委託金 23千円								
○学校安全総合支援事業委託金 36千円								
【主な内容】								
①学校支援員の配置								
学校内における学習面や生活面で教育的支援が必要な児童及び生徒に対し、支援や介助を行うため、各種支援員を小中学校へ配置する。								
②学校運営協議会の設置								
国の指針に基づいた協議会を運営し、学校と地域による特色ある学校づくりの推進を図る。								
③勝山高校魅力向上活動支援事業								
勝山高校の魅力向上に寄与するため、同校生徒が平日夜間に利用できる自習室を教育会館に開設し、生徒の質問に対応できるよう学生アルバイトを配置する。								
勝山自習室利用状況								
	R3	R4	R5	R6(見込)	R7(予算)			
人数(人)	973	1083	1617	1632	—			
日数(日)	151	162	165	168	168			
1日平均(人)	6	7	10	10	—			
【次頁へ】								

予算	会計		一般会計		予算区分		現年	
	款	10 教育費	項	01 教育総務費	目	03 教育指導費		
事業名	教育指導費			担当課	教育総務課	予算書頁	P157	
R7当初予算額(A)		R6当初予算額(B)		増減額(C)=(A)-(B)		増減率(D)=(C)/(B)		
46,171千円		46,288千円		△ 117千円		△ 0.3%		
予算額の財源内訳								
国・県(E)		市債(F)		その他(G)		一般財源(A-E-F-G)		
2,456千円		0千円		0千円		43,715千円		
【前頁より】								
④中学校統合に向けた連携活動事業の推進 勝山中学校の開校に向け、今まで以上に小学校や中学校同士の連携や交流及び小中や中高の連携強化を図り、これまで個々の小学校、中学校で行ってきた活動をより広げる形で交流活動や連携活動に対して支援を行う。 ⑤学校安全総合支援事業 【新規】[36千円(県36千円)] 今後発生が懸念される大規模災害に備えた実践的な防災教育を推進するため、年2回の学校安全実践委員会を開催する。 ⑥英語力向上に向けた取り組み(勝山高校海外研修助成) 【新規】[0千円] 子供たちの英語力向上や異文化理解の増進に向けた取り組みの集大成として、勝山高校入学後も生徒がさらに語学力やコミュニケーション能力に磨きをかけ、より多くの生徒が海外研修を経験できるよう、勝山高校が実施する英語を公用語とする国への海外研修旅行費用の一部を助成する。※R7補助要綱制定、R8歳出予算化								

予算	会計	一般会計		予算区分		現年	
	款	10 教育費	項	01 教育総務費	目	03 教育指導費	
事業名	【新規】道徳教育総合推進事業費			担当課	教育総務課	予算書頁	P158
R7当初予算額 (A)		R6当初予算額 (B)		増減額 (C) = (A) - (B)		増減率 (D) = (C) / (B)	
100千円		0千円		100千円		新規	
予算額の財源内訳							
国・県 (E)		市債 (F)		その他 (G)		一般財源 (A-E-F-G)	
100千円		0千円		0千円		0千円	
【事業の目的】 多世代との交流を通して、道徳的価値の自覚および自己の生き方について考えを深めるため、小学生を対象とした保護者・地域参加型の授業を実施する。							
【事業の概要】 ○報償費 40千円 ○消耗品費 60千円							
[財源内訳] ○道徳教育総合推進事業委託金 100千円							
[主な内容] ①親子で学ぶ道徳講座 道徳アンケートやワークショップ、教育講演会を実施して、いじめや思いやりの心について親子で一緒に考え、学ぶ機会を設け、道徳心の育成・向上を図る。(実施校：成器南小学校)							

予算	会計		一般会計		予算区分		現年	
	款	10 教育費	項	01 教育総務費	目	03 教育指導費		
事業名	外国語指導助手設置事業費			担当課	教育総務課	予算書頁	P159	
R7当初予算額(A)		R6当初予算額(B)		増減額(C)=(A)-(B)		増減率(D)=(C)/(B)		
10,927千円		9,656千円		1,271千円		13.2%		
予算額の財源内訳								
国・県(E)		市債(F)		その他(G)		一般財源(A-E-F-G)		
0千円		0千円		0千円		10,927千円		
【事業の目的】								
学習指導要領に基づき、小学校3・4年生は外国語活動、5・6年生は教科「外国語科」が実施されており、いつでも、どこでも、主体的に英語を使えるよう環境の整備を図る。								
【事業の概要】								
○報酬		8,255千円						
○共済費		1,248千円						
○旅費		400千円						
○消耗品費		24千円						
○燃料費		21千円						
○使用料及び賃借料		382千円						
○負担金		597千円						
[財源内訳]								
○ー								
[主な内容]								
①外国語指導助手(ALT)の配置								
小学校にALTを2名配置する。全小学校の外国語授業で、チームティーチング指導を3・4年生は週1回、5・6年生は週2回実施する。また教材作成の補助なども行う。								

予算	会計		一般会計		予算区分		現年																	
	款	10 教育費	項	01 教育総務費	目	03 教育指導費																		
事業名	ESD推進事業費				担当課	教育総務課	予算書頁	P159																
R7当初予算額(A)		R6当初予算額(B)		増減額(C)=(A)-(B)		増減率(D)=(C)/(B)																		
4,220千円		4,366千円		△ 146千円		△ 3.3%																		
予算額の財源内訳																								
国・県(E)		市債(F)		その他(G)		一般財源(A-E-F-G)																		
1,201千円		0千円		0千円		3,019千円																		
【事業の目的】																								
児童生徒が環境保全・伝統芸能継承・産業文化の学習等様々な体験・地域交流を行う中で、社会における多様性や連携性、責任性等の認識・理解に繋げ、持続可能な社会の創り手の育成を図る。 また、北陸新幹線が県内まで開業し、多くの観光客が来訪するにあたり、児童生徒が郷土の先人や歴史、自然、伝統・文化、観光資源等を学ぶとともに、地域の自然や文化等に関わる活動を通して地域の魅力に気づき理解を深め、ふるさとを愛する心と社会に貢献する志を育成する。																								
【事業の概要】																								
<table><tr><td>○報償費</td><td>578千円</td><td>○消耗品費</td><td>544千円</td></tr><tr><td>○印刷製本費</td><td>47千円</td><td>○通信運搬費</td><td>7千円</td></tr><tr><td>○保険料</td><td>42千円</td><td>○委託料</td><td>103千円</td></tr><tr><td>○使用料及び賃借料</td><td>2,226千円</td><td>○備品購入費</td><td>673千円</td></tr></table>									○報償費	578千円	○消耗品費	544千円	○印刷製本費	47千円	○通信運搬費	7千円	○保険料	42千円	○委託料	103千円	○使用料及び賃借料	2,226千円	○備品購入費	673千円
○報償費	578千円	○消耗品費	544千円																					
○印刷製本費	47千円	○通信運搬費	7千円																					
○保険料	42千円	○委託料	103千円																					
○使用料及び賃借料	2,226千円	○備品購入費	673千円																					
【財源内訳】																								
<table><tr><td>○福井の食の未来を支える食育推進事業補助金</td><td>36千円</td></tr><tr><td>○環境・エネルギー教育支援事業補助金</td><td>965千円</td></tr><tr><td>○ふるさとの魅力発信推進事業補助金</td><td>200千円</td></tr></table>									○福井の食の未来を支える食育推進事業補助金	36千円	○環境・エネルギー教育支援事業補助金	965千円	○ふるさとの魅力発信推進事業補助金	200千円										
○福井の食の未来を支える食育推進事業補助金	36千円																							
○環境・エネルギー教育支援事業補助金	965千円																							
○ふるさとの魅力発信推進事業補助金	200千円																							
【主な内容】																								
①小中学校の「総合的な学習の時間」 変化の激しい社会に対応して、探究的な見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、よりよく課題を解決し、自己の生き方を考えていくための資質・能力を育成する為に、農業体験、福祉学習、伝統芸能学習、地域学習、環境学習及びキャリア教育等を実施する。 ②エコ環境都市に向けた環境教育への充実 自分達のくらしを支える多様なエネルギーの特徴を学び、理解を深める為に、国庫補助金を活用して施設見学や教材用備品の整備を行い、エネルギーと地球環境や資源との関わりについて考える力を養う。 また自然体験学習の一環として「勝山自然塾」に参加する。（市内小学5年生対象） ③地域に学ぶ「14歳の挑戦」事業 社会的・職業的に自立し、社会の中で自分の役割を果たしながら、自分らしい生き方を実現するための力を養う為に、将来を見据えた進路選択を考える機会の1つとして、中学2年生を対象に市内事業所の協力の下、職場体験を実施する。																								
【次頁へ】																								

予算	会計		一般会計		予算区分		現年	
	款	10 教育費	項	01 教育総務費	目	03 教育指導費		
事業名	E S D 推進事業費			担当課	教育総務課	予算書頁	P159	
R7当初予算額(A)		R6当初予算額(B)		増減額(C)=(A)-(B)		増減率(D)=(C)/(B)		
4,220千円		4,366千円		△ 146千円		△ 3.3%		
予算額の財源内訳								
国・県(E)		市債(F)		その他(G)		一般財源(A-E-F-G)		
1,240千円		0千円		0千円		2,980千円		
【前項より】								
④プログラミング学習を活用した地域課題への取組 身近な環境整備に関する課題への取組として、プログラミングしたお掃除ロボットで解決する方法などを通して、探求的に考える力を養う。								
⑤ふるさとの魅力発信推進事業 児童生徒が自らの地域を探究して地域の魅力を発信するCMを作成し、「ふるさと福井CMコンテスト」に応募する。 ※令和3年度より事業開始、5年間ですべての小中学校で実施予定。 令和7年度は、2校（鹿谷小学校、野向小学校）で実施。								
＜表彰実績＞								
R3：小学校部門 優秀賞 成器西小学校 中学校部門 奨励賞 勝山南部中学校 R4：小学校部門 奨励賞 平泉寺小学校 中学校部門 最優秀賞 勝山中部中学校 R5：小学校部門 奨励賞 北郷小学校、成器南小学校 R6：受賞なし								

予算	会計		一般会計		予算区分		現年	
	款	10 教育費	項	01 教育総務費	目	04 青少年育成費		
事業名	青少年センター管理運営費			担当課	教育総務課		予算書頁	P160
R7当初予算額(A)		R6当初予算額(B)		増減額(C)=(A)-(B)		増減率(D)=(C)/(B)		
12,795千円		11,573千円		1,222千円		10.6%		
予算額の財源内訳								
国・県(E)		市債(F)		その他(G)		一般財源(A-E-F-G)		
1,595千円		0千円		0千円		11,200千円		
【事業の目的】								
適応指導教室指導員、スクールソーシャルワーカー及び青少年指導員を配置し、教育相談や自立支援、青少年育成関係者の研修及び青少年育成に関する情報提供などを行い、青少年の健全育成を図る。								
不登校適応指導教室を設置し、家庭、学校と連携しながら、一人ひとりに応じた学校復帰、自立支援を図る。								
青少年センターの円滑な運営及び施設・設備の適正な維持管理を図る。								
青少年育成勝山市民会議が母体となり、家庭・地域・学校・行政が連携した市民総ぐるみの育成活動を展開することにより、次世代の健全な成長を目指す。								
【事業の概要】								
○報酬		6,738千円		○職員手当等		1,976千円		
○共済費		1,216千円		○報償費		22千円		
○消耗品費		139千円		○燃料費		81千円		
○光熱水費		292千円		○修繕料		30千円		
○通信運搬費		67千円		○委託料		1,628千円		
○使用料及び賃借料		13千円		○補修用資材代		10千円		
○備品購入費		103千円		○補助金		480千円		
【財源内訳】								
○スクールソーシャルワーカー配置事業委託金				1,595千円				
【主な内容】								
①適応指導教室指導員、スクールソーシャルワーカー及び青少年指導員の配置 児童・生徒を取り巻く環境の問題解決や、家庭や学校と連携しながら、一人ひとりに応じた学校復帰、自立支援等を行う。								
②施設の維持管理 施設の維持管理のため、清掃業務や警備業務を委託する。								
③青少年健全育成推進事業 青少年育成勝山市民会議を母体とした「かつやまっ子応援ネットワーク」等が行う青少年育成に関する事業への助成や、青少年健全育成のための啓発等の事業を行う。								
④青少年育成勝山市民会議補助事業 青少年育成勝山市民会議が実施する子ども安心県民作戦事業に対して助成を行い、小中学生の見守り活動及びかけこみ110番看板作成活動を支援する。								

予算	会計		一般会計		予算区分		現年	
	款	10 教育費	項	01 教育総務費	目	06 教育会館費		
事業名	教育会館管理運営費			担当課	教育会館		予算書頁	P161
R7当初予算額(A)		R6当初予算額(B)		増減額(C)=(A)-(B)		増減率(D)=(C)/(B)		
22,672千円		25,380千円		△ 2,708千円		△ 10.7%		
予算額の財源内訳								
国・県(E)		市債(F)		その他(G)		一般財源(A-E-F-G)		
0千円		0千円		613千円		22,059千円		
【事業の目的】								
教育文化の振興に寄与するため、広く市民の利用に供する施設として、教育会館の円滑な運営及び施設・設備の維持管理を図る。								
【事業の概要】								
○消耗品費		270千円		○燃料費		1,516千円		
○光熱水費		9,499千円		○修繕料		700千円		
○通信運搬費		32千円		○手数料		25千円		
○委託費		10,515千円		○使用料及び賃貸料		49千円		
○補修用資材代		60千円		○負担金		6千円		
[財源内訳]								
○教育会館使用料		542千円						
○自動販売機設置・電気料等		70千円						
○施設公衆電話料		1千円						
[主な内容]								
①コンクリート中性化・圧縮試験 【新規】 [713千円]								
今後の教育会館の改修に先立ち、コンクリートの中性化・圧縮試験を実施する。								
②教育会館の貸館、施設管理、法定点検等の実施								
施設内設備の保守・管理などを適切に行う。								
(人)								
年度	R3	R4	R5	R6(見込)	R7			
利用者数	27,504	34,786	37,406	37,000	—			

予算	会計		一般会計		予算区分		現年	
	款	10 教育費	項	02 小学校費	目	01 学校管理費		
事業名	小学校管理運営費			担当課	教育総務課		予算書頁	P162
R7当初予算額(A)		R6当初予算額(B)		増減額(C)=(A)-(B)		増減率(D)=(C)/(B)		
99,203千円		101,778千円		△ 2,575千円		△ 2.5%		
予算額の財源内訳								
国・県(E)		市債(F)		その他(G)		一般財源(A-E-F-G)		
61千円		0千円		369千円		98,773千円		
【事業の目的】								
小学校において教育課程を実施するために必要な経費を負担し、義務教育の円滑な実施を図る。								
【事業の概要】								
○報償費 2,182千円 ○消耗品費 9,153千円								
○燃料費 5,969千円 ○食糧費 45千円								
○印刷製本費 866千円 ○光熱水費 44,436千円								
○修繕料 1,300千円 ○通信運搬費 1,247千円								
○手数料 325千円 ○保険料 138千円								
○委託料 26,787千円 ○使用料及び賃借料 1,636千円								
○備品購入費 5,117千円 ○負担金 2千円								
【財源内訳】								
○小学校施設使用料(社会体育) 362千円								
○小学校施設使用料 1千円								
○学校生活ボランティア推進事業補助金 61千円								
○給食個人負担金等 5千円								
○施設公衆電話料 1千円								
【主な内容】								
①小学校(9校)の管理運営								
学校運営に係る事務や衛生管理、学習環境整備等に係る必要経費を、年間を通して計画的に有効に執行し、円滑で適正な学校管理に努める。								
②プール授業の委託								
市営温水プールの指定管理者にプール授業の指導を委託することで、高度な指導と天候に左右されない安定した環境での授業運営に努める。								
また、夏季休業中のプール開放も同施設で実施する。								
③給食への顔が見える給食米使用の推進 【新規】[6,163千円]								
勝山市内の米作り農家・農業法人と協力し、生産者が分かる「顔が見える給食米」を給食で使用することで安心安全でおいしいご飯を供給するとともに児童の郷土愛を醸成し、食や農業への興味関心を深める。								

予算	会計	一般会計		予算区分		現年	
	款	10 教育費	項	02 小学校費	目	01 学校管理費	
事業名	小学校施設管理費			担当課	教育総務課	予算書頁	P163
R7当初予算額(A)	R6当初予算額(B)		増減額(C)=(A)-(B)		増減率(D)=(C)/(B)		
98,980千円	92,016千円		6,964千円		7.6%		
予算額の財源内訳							
国・県(E)		市債(F)		その他(G)		一般財源(A-E-F-G)	
0千円		0千円		0千円		98,980千円	
【事業の目的】							
小学校施設・設備の維持管理を適切に行い、安全で良好な学校生活の維持を図る。							
【事業の概要】							
○給料		50,077千円					
○職員手当等		17,894千円					
○共済費		10,363千円					
○手数料		103千円					
○委託料		6,303千円					
○使用料及び賃借料		14,046千円					
○公有財産購入費		194千円					
[財源内訳]							
○ー							
[主な内容]							
①調理員、施設員（会計年度任用職員）の配置							
調理員15人、施設員7人を配置し、児童の安全で良好な学校生活をサポートする。							
②施設の維持管理							
小学校施設の電気、機械等の法定点検並びに警備、清掃及び庭木の剪定など施設の維持管理を行う。							
③給食室のねずみ・昆虫防除業務の委託							
専門業者によるねずみ・昆虫防除の定期点検（2ヶ月に1回）を行い、給食室の衛生環境を向上し、給食の安全性を高める。							

予算	会計		一般会計		予算区分		現年	
	款	10 教育費	項	02 小学校費	目	01 学校管理費		
事業名	小学校保健管理費				担当課	教育総務課	予算書頁	P163
R7当初予算額(A)		R6当初予算額(B)		増減額(C)=(A)-(B)		増減率(D)=(C)/(B)		
3,468千円		3,793千円		△ 325千円		△ 8.6%		
予算額の財源内訳								
国・県(E)		市債(F)		その他(G)		一般財源(A-E-F-G)		
29千円		0千円		418千円		3,021千円		
【事業の目的】								
学校保健安全法等に基づき、児童及び教職員の健康診断や検査等を実施し、疾病の予防、適切な措置及び早期治療の実施を図る。また学校教育の円滑な実施に資する為、災害共済に加入し、学校の管理下における児童の災害に対して補償を図る。								
【事業の概要】								
○報償費 59千円								
○手数料 15千円								
○委託料 2,518千円								
○負担金 855千円								
○補助金 21千円								
【財源内訳】								
○日本スポーツ振興センター負担金 403千円								
○子どもの目と歯の健康プロジェクト事業補助金 29千円								
○日本スポーツ振興センター災害共済補助金 15千円								
【主な内容】								
①健康診断、ストレスチェック事業								
学校における児童や教職員の健康の保持増進を図るため、健康診断等を実施する。								
②子どもの目と歯の健康プロジェクト事業								
乳歯のむし歯治療と、永久歯のむし歯予防対策を推進するため、小学校1・4年生の全児童を対象として、秋に状態観察と治療勧告を行う。								
③日本スポーツ振興センター災害共済給付制度への加入								
児童が学校の管理下でケガなどをした際の災害共済給付に対処する。								

予算	会計		一般会計		予算区分		現年	
	款	10 教育費	項	02 小学校費	目	01 学校管理費		
事業名	小学校校医等報酬費			担当課	教育総務課		予算書頁	P164
R7当初予算額(A)		R6当初予算額(B)		増減額(C)=(A)-(B)		増減率(D)=(C)/(B)		
3,831千円		3,844千円		△ 13千円		△ 0.3%		
予算額の財源内訳								
国・県(E)		市債(F)		その他(G)		一般財源(A-E-F-G)		
0千円		0千円		0千円		3,831千円		
【事業の目的】 学校保健安全法に基づき、学校医、学校歯科医及び学校薬剤師を配置し、学校における健康診断、健康相談等の保健管理に関する専門的事項に関する指導、環境衛生の維持管理に関する専門的技術的指導及び技術等への従事を図る。								
【事業の概要】 ○報酬 3,831千円								
[財源内訳] ○－								
[主な内容] ①児童健診 学校保健安全法に基づき、児童の健康管理に資するため、学校医及び学校歯科医による各種健診を行う。 (一般、眼科、耳鼻咽喉科、歯科、新入学検診) ②学校環境衛生検査 学校における教育活動が安全な環境において実施され、児童等の安全の確保が図られるよう、学校薬剤師による検査を実施する。								

予算	会計		一般会計		予算区分		現年	
	款	10 教育費	項	02 小学校費	目	02 教育振興費		
事業名	小学校教育用コンピューター整備費			担当課	教育総務課		予算書頁	P164
R7当初予算額(A)		R6当初予算額(B)		増減額(C)=(A)-(B)		増減率(D)=(C)/(B)		
22,236千円		21,798千円		438千円		2.0%		
予算額の財源内訳								
国・県(E)		市債(F)		その他(G)		一般財源(A-E-F-G)		
0千円		0千円		1,094千円		21,142千円		
【事業の目的】 GIGAスクール構想で整備された一人一台端末を活用し、子どもたちの学習への興味・関心を高め、わかりやすい授業や「主体的・対話的で深い学び」の実現を図る。また、教職員が行う校務についてIT化を推進し、教職員の負担軽減を図る。								
【事業の概要】 ○修繕料 165千円 ○通信運搬費 5,148千円 ○手数料 91千円 ○委託料 832千円 ○使用料及び賃借料 13,467千円 ○備品購入費 2,475千円 ○補償、補填及び賠償金 58千円								
[財源内訳] ○教材費個人負担金等 1,094千円								
[主な内容] ①普通教室用大型掲示装置の更新 【新規】 [2,475千円] 経年劣化が進む小学校の教室に設置されている液晶ディスプレイを3ヶ年で更新し、安定した授業環境を整備する。(令和7年度 荒土小学校、鹿谷小学校、北郷小学校) ②一人一台端末のインターネット環境の提供 通常の校内学習以外に校外学習や家庭でのオンライン学習でもインターネットを利用できる環境を提供しICT教育を推進する。								

予算	会計		一般会計		予算区分		現年	
	款	10 教育費	項	02 小学校費	目	02 教育振興費		
事業名	小学校就学援助・奨励費			担当課	教育総務課		予算書頁	P164
R7当初予算額(A)		R6当初予算額(B)		増減額(C)=(A)-(B)		増減率(D)=(C)/(B)		
7,567千円		6,796千円		771千円		11.3%		
予算額の財源内訳								
国・県(E)		市債(F)		その他(G)		一般財源(A-E-F-G)		
1,053千円		0千円		0千円		6,514千円		
【事業の目的】								
就学奨励費は、特別支援学級に就学する児童の保護者等の経済的負担を軽減し、特別支援教育の普及並びに奨励を図る。								
就学援助費は、経済的理由によって就学困難な児童の保護者等について、就学に必要な経費を援助することより、義務教育の円滑な実施を図る。								
【事業の概要】								
○扶助費 7,567千円								
[財源内訳]								
○特別支援教育就学奨励費補助金 1,047千円								
○要保護児童就学援助費補助金 6千円								
[主な内容]								
①特別支援教育就学奨励費								
特別支援学級に入級している児童と、通常学級に籍を置く学校教育法施行令第22条の3に相当する障害を持つ児童の教育に関する経済的負担を軽減する。								
②要保護児童就学援助費								
生活保護法第6条第2項に規定する要保護者に対し、学校検診時に係る医療費と修学旅行費を援助する。								
③準要保護児童就学援助費								
生活保護法第6条2項目に規定する要保護者に準ずる程度に困窮していると市が認める者に対し、学校生活における経費を援助する。								
対象者数 (人)								
	R3	R4	R5	R6 (見込)	R7 (予算)			
特別支援奨励費	35	37	35	35	52			
要保護就学援助費	1	1	1	1	1			
準要保護就学援助費	58	57	65	60	66			

予算	会計	一般会計			予算区分		現年	
	款	10 教育費		項	02 小学校費		目	02 教育振興費
事業名	小学校振興事業費				担当課	教育総務課		予算書頁 P165
R7当初予算額(A)		R6当初予算額(B)		増減額(C)=(A)-(B)		増減率(D)=(C)/(B)		
888千円		888千円		0千円		0.0%		
予算額の財源内訳								
国・県(E)		市債(F)		その他(G)		一般財源(A-E-F-G)		
0千円		0千円		0千円		888千円		
【事業の目的】								
勝山市の小学校各種教育に必要な経費に対し助成を行い、小学校教育振興の円滑な実施及び充実を図る。								
【事業の概要】								
○補助金 888千円								
[財源内訳]								
○ー								
[主な内容]								
①勝山市遠距離通学費補助金								
遠距離通学対象者（通年4km以上、冬季3km以上）に対して通学路の安全確保を図るとともに保護者の負担を軽減する。								
遠距離通学費補助金 対象者数 (人)								
年度	R3	R4	R5	R6 (見込)	R7 (予算)			
合計	17	18	16	16	16			
②勝山市小中学生スポーツ等派遣事業補助金								
スポーツ競技力向上及び文化活動の推進を図るため、全国大会等に出場・参加する小学校の団体・個人への出場経費を支援し、保護者の負担を軽減する。								
スポーツ等派遣事業補助金 対象者数 (人)								
年度	R3	R4	R5	R6 (見込)	R7 (予算)			
合計	25	41	50	72	72			

予算	会計		一般会計		予算区分		現年	
	款	10 教育費	項	02 小学校費	目	02 教育振興費		
事業名	小学校教材備品整備費			担当課	教育総務課	予算書頁	P165	
R7当初予算額(A)		R6当初予算額(B)		増減額(C)=(A)-(B)		増減率(D)=(C)/(B)		
4,328千円		4,325千円		3千円		0.1%		
予算額の財源内訳								
国・県(E)		市債(F)		その他(G)		一般財源(A-E-F-G)		
0千円		0千円		0千円		4,328千円		
【事業の目的】 教育効果を高め、児童の基礎的・基本的な学習理解の補助や発展に資する為、教材及び図書備品の充実を図る。								
【事業の概要】 ○消耗品費 589千円 ○備品購入費 3,739千円								
[財源内訳] ○ー								
[主な内容] ①備品図書・新聞の充実 児童の読書活動、学習活動の推進に資する為、学校図書館の図書及び新聞を購入する。 ②標準教材品目の整備、補充 児童が新学習指導要領に基づき、基礎的な知識を習得できるよう、教材等を購入する。								

予算	会計		一般会計		予算区分		現年	
	款	10 教育費	項	02 小学校費	目	03 学校維持修繕費		
事業名	小学校施設営繕費				担当課	教育総務課	予算書頁	P165
R7当初予算額(A)		R6当初予算額(B)		増減額(C)=(A)-(B)		増減率(D)=(C)/(B)		
9,088千円		8,349千円		739千円		8.9%		
予算額の財源内訳								
国・県(E)		市債(F)		その他(G)		一般財源(A-E-F-G)		
0千円		2,300千円		0千円		6,788千円		
【事業の目的】								
小学校の通常維持補修、施設の営繕工事を行い適正な維持管理を図る。								
【事業の概要】								
○給料		68千円						
○修繕料		6,020千円						
○改修工事費		2,500千円						
○補修用資材代		500千円						
[財源内訳]								
○公共施設等適正管理推進事業債（長寿命化事業）		2,300千円						
[主な内容]								
①施設の修繕及び補修								
各学校施設等の修繕及び補修を行う。また、施設の安全な維持管理等のため、下記の工事を行う。								
成器西小学校 砂場改修工事								

予算	会計		一般会計		予算区分		現年	
	款	10 教育費	項	02 小学校費	目	04 学校建設費		
事業名	小学校校舎整備事業費			担当課	教育総務課		予算書頁	P165
R7当初予算額(A)		R6当初予算額(B)		増減額(C)=(A)-(B)		増減率(D)=(C)/(B)		
15,077千円		10,792千円		4,285千円		39.7%		
予算額の財源内訳								
国・県(E)		市債(F)		その他(G)		一般財源(A-E-F-G)		
0千円		7,200千円		0千円		7,877千円		
【事業の目的】								
小学校校舎の維持に必要な改修や整備を行うことで、施設の長寿命化を図る。								
【事業の概要】								
○給料		217千円						
○委託料		6,930千円						
○改修工事費		7,930千円						
【財源内訳】								
○公共施設等適正管理推進事業債（長寿命化事業）		4,700千円						
○脱炭素化推進事業債（小学校整備事業）		2,500千円						
【主な内容】								
①施設の修繕及び補修								
施設の長寿命化を図るため、以下の工事を実施する。								
平泉寺小学校 漏水改修工事								
成器南小学校・村岡小学校 体育館渡り廊下床等改修工事								
北郷小学校 屋内運動場高天井用照明LED化工事								
鹿谷小学校 高圧気中開閉器更新修繕工事								
鹿谷小学校 給食室内検収室設置工事								
②成器南小学校ほか体育館空調設備実施設計委託 【新規】[6,930千円]								
災害時の避難所機能の強化、児童の熱中症防止及び社会体育活動等における快適な環境の整備を目的として、小学校体育館（R7は成器南小、荒土小）に空調設備を設置するための実施設計を行う。								

予算	会計		一般会計		予算区分		現年	
	款	10 教育費	項	03 中学校費	目	01 学校管理費		
事業名	中学校管理運営費			担当課	教育総務課		予算書頁	P166
R7当初予算額(A)		R6当初予算額(B)		増減額(C)=(A)-(B)		増減率(D)=(C)/(B)		
43,812千円		35,246千円		8,566千円		24.3%		
予算額の財源内訳								
国・県(E)		市債(F)		その他(G)		一般財源(A-E-F-G)		
0千円		0千円		179千円		43,633千円		
【事業の目的】								
中学校において教育課程を実施するための必要な経費を負担し、義務教育の円滑な実施を図る。 令和9年度の勝山市立勝山中学校の開校に向け、学校運営等にかかる準備委員会の運営等を行う。								
【事業の概要】								
○報酬 970千円 ○報償費 822千円 ○旅費 128千円 ○消耗品費 4,543千円 ○燃料費 758千円 ○食糧費 15千円 ○印刷製本費 388千円 ○光熱水費 16,809千円 ○修繕料 450千円 ○通信運搬費 549千円 ○手数料 99千円 ○保険料 42千円 ○委託料 16,244千円 ○使用料及び賃借料 59千円 ○備品購入費 1,936千円								
[財源内訳]								
○中学校施設使用料（社会体育） 169千円 ○中学校施設使用料 1千円 ○施設公衆電話料 9千円								
[主な内容]								
①中学校（3校）の管理運営 学校運営にかかる事務や衛生管理、学習環境整備等にかかる必要経費を、年間を通して計画的に有効に執行し、円滑で適正な学校管理に努める。								
②再編準備委員会の運営 総務部会、学校運営部会、PTA部会及び施設整備部会を設置し、再編準備委員会の運営を行う。								
③プール授業の委託 市営温水プールの指定管理者にプール授業の指導を委託することで、高度な指導と天候に左右されない安定した環境での授業運営に努める。								
④給食への顔が見える給食米使用の推進 【新規】[4,486千円] 勝山市内の米作り農家・農業法人と協力し、生産者が分かる「顔が見える給食米」を給食で使用することで安心安全でおいしいご飯を供給するとともに生徒の郷土愛を醸成し、食や農業への興味関心を深める。								

予算	会計		一般会計			予算区分		現年	
	款	10 教育費	項	03 中学校費	目	01 学校管理費			
事業名	中学校施設管理費				担当課	教育総務課	予算書頁	P167	
R7当初予算額(A)		R6当初予算額(B)			増減額(C)=(A)-(B)		増減率(D)=(C)/(B)		
38,330千円		37,112千円			1,218千円		3.3%		
予算額の財源内訳									
国・県(E)		市債(F)			その他(G)		一般財源(A-E-F-G)		
0千円		0千円			0千円		38,330千円		
【事業の目的】									
中学校施設・設備の維持管理を適切に行い、安全で良好な学校生活の維持を図る。									
【事業の概要】									
○給料		4,332千円							
○職員手当等		1,662千円							
○共済費		967千円							
○委託料		2,205千円							
○使用料及び賃借料		29,164千円							
[財源内訳]									
○ー									
[主な内容]									
①施設員（会計年度任用職員）の配置									
施設員2人を配置し、生徒の安全で良好な学校生活をサポートする。									
②施設の維持管理									
中学校施設の電気、機械等の法定点検並びに警備、清掃及び庭木の剪定など施設の維持管理を行う。									

予算	会計		一般会計		予算区分		現年	
	款	10 教育費	項	03 中学校費	目	01 学校管理費		
事業名	中学校保健管理費				担当課	教育総務課	予算書頁	P167
R7当初予算額 (A)		R6当初予算額 (B)		増減額 (C) = (A) - (B)		増減率 (D) = (C) / (B)		
1,891千円		1,962千円		△ 71千円		△ 3.6%		
予算額の財源内訳								
国・県 (E)		市債 (F)		その他 (G)		一般財源 (A-E-F-G)		
0千円		0千円		232千円		1,659千円		
【事業の目的】								
学校保健安全法等に基づき、生徒及び教職員の健康診断や検査等を実施し、疾病の予防、適切な措置及び早期治療の実施を図る。また学校教育の円滑な実施に資する為、災害共済に加入し、学校の管理下における生徒の災害に対して補償を図る。								
【事業の概要】								
○委託料 1,414千円								
○負担金 477千円								
[財源内訳]								
○日本スポーツ振興センター負担金 224千円								
○日本スポーツ振興センター災害共済補助金 8千円								
[主な内容]								
①健康診断、ストレスチェック事業 学校における生徒や教職員の健康の保持増進を図るため、健康診断等を実施する。								
②日本スポーツ振興センター災害共済給付制度への加入 生徒が学校の管理下でケガなどをした際の災害共済給付に対処する。								

予算	会計		一般会計		予算区分		現年	
	款	10 教育費	項	03 中学校費	目	01 学校管理費		
事業名	中学校校医等報酬費			担当課	教育総務課	予算書頁	P168	
R7当初予算額(A)		R6当初予算額(B)		増減額(C)=(A)-(B)		増減率(D)=(C)/(B)		
1,615千円		1,624千円		△ 9千円		△ 0.6%		
予算額の財源内訳								
国・県(E)		市債(F)		その他(G)		一般財源(A-E-F-G)		
0千円		0千円		0千円		1,615千円		
【事業の目的】 学校保健安全法に基づき、学校医、学校歯科医及び学校薬剤師を配置し、学校における健康診断、健康相談等の保健管理に関する専門的事項に関する指導、環境衛生の維持管理に関する専門的技術的指導及び技術等への従事を図る。								
【事業の概要】 ○報酬 1,615千円								
[財源内訳] ○－								
[主な内容] ①生徒健診 学校保健安全法に基づき、生徒の健康管理に資するため、学校医及び学校歯科医による各種健診を行う。 (一般、眼科、耳鼻咽喉科、歯科健診) ②学校環境衛生検査 学校における教育活動が安全な環境において実施され、生徒等の安全の確保が図られるよう、学校薬剤師による検査を実施する。								

予算	会計		一般会計		予算区分		現年	
	款	10 教育費	項	03 中学校費	目	02 教育振興費		
事業名	中学校教育用コンピューター整備費			担当課	教育総務課		予算書頁	P168
R7当初予算額(A)		R6当初予算額(B)		増減額(C)=(A)-(B)		増減率(D)=(C)/(B)		
11,536千円		9,571千円		1,965千円		20.5%		
予算額の財源内訳								
国・県(E)		市債(F)		その他(G)		一般財源(A-E-F-G)		
0千円		0千円		607千円		10,929千円		
【事業の目的】								
GIGAスクール構想で整備された一人一台端末を活用し、子どもたちの学習への興味・関心を高め、わかりやすい授業や「主体的・対話的で深い学び」の実現を図る。また、教職員が行う校務についてIT化を推進し、教職員の負担軽減を図る。								
【事業の概要】								
○修繕料 110千円								
○通信運搬費 2,806千円								
○手数料 31千円								
○委託料 410千円								
○使用料及び賃借料 8,131千円								
○補償、補填及び賠償金 48千円								
【財源内訳】								
○教材費個人負担金等 607千円								
【主な内容】								
①オンラインプログラミング学習教材の導入 【新規】 [1,271千円]								
中学校の技術で学んでいるネットワークやプログラミングについて、新たな学習教材を導入し、生徒が個別に理解を進めることができる環境整備と教員の負担軽減を推進する。								
②指導者用デジタル教科書ライセンス 【新規】 [825千円]								
令和6年度に採択し、令和7年度から使用する教科書の指導者用デジタル教科書を整備する。								
③一人一台端末のインターネット環境の提供								
通常の校内学習以外に校外学習や家庭でのオンライン学習でもインターネットを利用できる環境を提供しICT教育を推進する。								

予算	会計	一般会計			予算区分		現年		
	款	10 教育費		項	03 中学校費		目	02 教育振興費	
事業名	中学校就学援助・奨励費				担当課	教育総務課		予算書頁	P168
R7当初予算額(A)		R6当初予算額(B)			増減額(C)=(A)-(B)		増減率(D)=(C)/(B)		
6,423千円		6,417千円			6千円		0.1%		
予算額の財源内訳									
国・県(E)		市債(F)			その他(G)		一般財源(A-E-F-G)		
873千円		0千円			0千円		5,550千円		
【事業の目的】									
就学奨励費は、特別支援学級へ就学する生徒の保護者等の経済的負担を軽減し、特別支援教育の普及並びに奨励を図る。									
就学援助費は、経済的理由によって就学困難な生徒の保護者等について、就学に必要な経費を援助することより、義務教育の円滑な実施を図る。									
【事業の概要】									
○扶助費 6,423千円									
【財源内訳】									
○特別支援教育就学奨励費補助金 837千円									
○要保護生徒就学援助費補助金 36千円									
【主な内容】									
①特別支援教育就学奨励費									
特別支援学級に入級している生徒と、通常学級に籍を置く学校教育法施行令第22条の3に相当する障害を持つ生徒の教育に関する経済的負担を軽減する。									
②要保護生徒就学援助費									
生活保護法第6条第2項に規定する要保護者に対し、学校検診時に係る医療費と修学旅行費を援助する。									
③準要保護生徒就学援助費									
生活保護法第6条2項目に規定する要保護者に準ずる程度に困窮していると市が認める者に対し、学校生活における経費を援助する。									
対象者数 (人)									
	R3	R4	R5	R6(見込)	R7(予算)				
特別支援奨励費	17	16	12	16	27				
要保護就学援助費	1	1	2	0	1				
準要保護就学援助費	30	30	29	33	38				

予算	会計		一般会計			予算区分		現年	
	款	10	教育費	項	03	中学校費	目	02	教育振興費
事業名	中学校振興事業費				担当課	教育総務課		予算書頁	P169
R7当初予算額(A)		R6当初予算額(B)			増減額(C)=(A)-(B)		増減率(D)=(C)/(B)		
33,130千円		38,150千円			△ 5,020千円		△ 13.2%		
予算額の財源内訳									
国・県(E)		市債(F)			その他(G)		一般財源(A-E-F-G)		
2,980千円		0千円			0千円		30,150千円		
【事業の目的】									
勝山市の中学校各種教育に必要な経費に対し助成を行い、中学校教育振興の円滑な実施及び充実を図る。									
【事業の概要】									
○報酬	1,440千円		○共済費	5千円					
○委託料	4,040千円		○負担金	575千円					
○補助金	27,070千円								
【財源内訳】									
①部活動指導員配置促進事業補助金				960千円					
②地域スポーツクラブ活動体制整備事業補助金				2,020千円					
【主な内容】									
①中学校体育連盟選手派遣補助金									
スポーツ競技力向上及び文化活動の推進を図るため、奥越地区大会、県大会及び練習試合への選手派遣費に要する経費を助成する。									
②勝山市小中学生スポーツ等派遣事業補助金									
スポーツ競技力向上及び文化活動の推進を図るため、全国大会等に出場・参加する中学校の団体・個人への出場経費を助成する。									
スポーツ等派遣事業補助金 対象者数 (人)									
年度	R3	R4	R5	R6(見込)	R7(予算)				
合計	75	19	34	65	65				
③部活動指導員設置事業									
教員の負担軽減を図るため、部活動指導員を3名配置する。									
④地域スポーツクラブ活動体制整備事業 【拡充】[4,040千円(県2,020千円)]									
教員の働き方改革を踏まえ、休日の部活動を地域の活動として実施できる環境を整える。令和7年度は令和5年度から実施している3競技(バドミントン、バレーボール、陸上)に2競技(サッカー、柔道)を拡充する。									

予算	会計		一般会計		予算区分		現年	
	款	10 教育費	項	03 中学校費	目	02 教育振興費		
事業名	中学校教材備品整備費			担当課	教育総務課	予算書頁	P169	
R7当初予算額(A)		R6当初予算額(B)		増減額(C)=(A)-(B)		増減率(D)=(C)/(B)		
2,727千円		3,737千円		△ 1,010千円		△ 27.0%		
予算額の財源内訳								
国・県(E)		市債(F)		その他(G)		一般財源(A-E-F-G)		
0千円		0千円		0千円		2,727千円		
【事業の目的】								
教育効果を高め、生徒の基礎的・基本的な学習理解の補助や発展に資する為、教材及び図書備品の充実を図る。								
【事業の概要】								
○消耗品費		371千円						
○使用料及び賃借料		84千円						
○備品購入費		2,272千円						
[財源内訳]								
○ー								
[主な内容]								
①備品図書・新聞の充実								
生徒の読書活動、学習活動の推進に資する為、学校図書館の図書及び新聞を購入する。								
②標準教材品目の整備、補充								
生徒が基礎的な知識を習得できるよう、教材等の購入・リースを行う。								

予算	会計	一般会計		予算区分		現年	
	款	10 教育費	項	03 中学校費	目	03 学校維持修繕費	
事業名	中学校施設営繕費			担当課	教育総務課	予算書頁	P169
R7当初予算額(A)		R6当初予算額(B)		増減額(C)=(A)-(B)		増減率(D)=(C)/(B)	
3,698千円		25,232千円		△ 21,534千円		△ 85.3%	
予算額の財源内訳							
国・県(E)		市債(F)		その他(G)		一般財源(A-E-F-G)	
0千円		0千円		0千円		3,698千円	
【事業の目的】 中学校の通常維持補修、施設の営繕工事を行い適正な維持管理を図る。							
【事業の概要】 ○修繕料 3,200千円 ○補修用資材代 498千円							
[財源内訳] ○—							
[主な内容] ①施設の修繕及び補修 各学校施設等の修繕及び補修を行う。							

予算	会計		一般会計		予算区分		現年	
	款	10 教育費	項	03 中学校費	目	04 学校建設費		
事業名	中学校再編施設整備事業費			担当課	教育総務課		予算書頁	P169
R7当初予算額(A)		R6当初予算額(B)		増減額(C)=(A)-(B)		増減率(D)=(C)/(B)		
2,867,739千円		1,507,595千円		1,360,144千円		90.2%		
予算額の財源内訳								
国・県(E)		市債(F)		その他(G)		一般財源(A-E-F-G)		
1,410,786千円		1,455,600千円		0千円		1,353千円		
【事業の目的】								
令和9年度の勝山市立勝山中学校の開校に向け、新中学校建設のための基本的な理念及び目指すべき姿を示した基本構想をもとに、必要な機能や施設の特色等の基本的な方針を定め、施設整備を行う。								
【事業の概要】								
○給料		69,700千円						
○手数料		1,271千円						
○委託料		43,486千円						
○建設工事費		2,729,582千円						
○補償、補填及び賠償金		23,700千円						
[財源内訳]								
○社会資本整備総合交付金（都市構造再編集集中支援事業）		486,700千円						
○公立学校施設整備費国庫負担金		924,086千円						
○過疎対策事業債（中学校整備事業）		1,455,600千円						
[主な内容]								
①勝山中学校校舎等整備工事								
新中学校校舎、ジオアリーナとつながり地下通路、給食施設の建設工事を実施する。また、市有林で育ててきた木材を利用し校舎等の木質化を図る。								

予算	会計		一般会計		予算区分		現年	
	款	10 教育費	項	04 幼稚園費	目	01 幼稚園費		
事業名	幼稚園施設管理費			担当課	こども課		予算書頁	P170
R7当初予算額(A)		R6当初予算額(B)		増減額(C)=(A)-(B)		増減率(D)=(C)/(B)		
3,162千円		3,309千円		△ 147千円		△ 4.4%		
予算額の財源内訳								
国・県(E)		市債(F)		その他(G)		一般財源(A-E-F-G)		
0千円		0千円		9千円		3,153千円		
【事業の目的】 幼稚園施設・設備の維持管理を適切に行い、安全で良好な学校生活の維持を図る。								
【事業の概要】 ○給料 1,955千円 ○職員手当等 751千円 ○共済費 272千円 ○委託料 153千円 ○使用料及び賃借料 31千円								
[財源内訳] ○行政財産目的外使用料 9千円								
[主な内容] ①施設員(会計年度任用職員)の配置 施設員1人を配置し、園児が安心して学校生活を送れるようサポートする。 ②幼稚園の維持管理 幼稚園施設に関する法定点検等を実施し、各種保守点検委託や警備委託により施設の維持管理を行う。								

予算	会計	一般会計			予算区分		現年	
	款	10 教育費		項	04 幼稚園費		目	01 幼稚園費
事業名	幼稚園園医等報酬費				担当課	こども課		予算書頁 P171
R7当初予算額 (A)		R6当初予算額 (B)			増減額 (C) = (A) - (B)		増減率 (D) = (C) / (B)	
260千円		266千円			△ 6千円		△ 2.3%	
予算額の財源内訳								
国・県 (E)		市債 (F)			その他 (G)		一般財源 (A-E-F-G)	
0千円		0千円			0千円		260千円	
【事業の目的】 学校保健安全法に基づき、園医、園歯科医、園薬剤師を配置し、園における健康診断、健康相談等の保健管理に関する専門的事項に関する指導、環境衛生の維持管理に関する専門的技術的指導及び技術等への従事を図る。								
【事業の概要】 ○報酬 260千円								
[財源内訳] ○－								
[主な内容] ①園児健診 学校保健安全法に基づき、園児の健康管理に資するため、園医、園歯科医による各種健診を行う。（一般、歯科） ②幼稚園環境衛生検査 幼稚園における教育活動が安全な環境において実施され、園児等の安全の確保が図られるよう、園薬剤師による検査を実施する。								

予算	会計		一般会計		予算区分		現年	
	款	10 教育費	項	04 幼稚園費	目	01 幼稚園費		
事業名	幼稚園管理運営費				担当課	こども課	予算書頁	P171
R7当初予算額(A)		R6当初予算額(B)		増減額(C)=(A)-(B)		増減率(D)=(C)/(B)		
2,233千円		6,102千円		△ 3,869千円		△ 63.4%		
予算額の財源内訳								
国・県(E)		市債(F)		その他(G)		一般財源(A-E-F-G)		
352千円		0千円		4千円		1,877千円		
【事業の目的】								
幼稚園において教育課程を実施するための必要な経費を負担し、幼稚園教育の円滑な実施を図る。								
【事業の概要】								
○報償費		14千円		○消耗品費		164千円		
○燃料費		152千円		○印刷製本費		5千円		
○光熱水費		795千円		○修繕料		95千円		
○通信運搬費		49千円		○手数料		49千円		
○保険料		1千円		○委託料		117千円		
○使用料および賃借料		153千円		○負担金		10千円		
○扶助費		620千円		○公課費		9千円		
[財源内訳]								
○日本スポーツ振興センター負担金				1千円				
○一時預かり保育料				3千円				
○子育てのための施設等利用給付費負担金(国)				222千円				
○子育てのための施設等利用給付費負担金(県)				111千円				
○すくすく保育推進事業補助金				19千円				
[主な内容]								
①幼稚園の管理運営に必要な経費								

予算	会計	一般会計			予算区分		現年		
	款	10 教育費		項	04 幼稚園費		目	01 幼稚園費	
事業名	幼稚園維持補修費				担当課	こども課		予算書頁	P172
R7当初予算額(A)		R6当初予算額(B)			増減額(C)=(A)-(B)		増減率(D)=(C)/(B)		
124千円		124千円			0千円		0.0%		
予算額の財源内訳									
国・県(E)		市債(F)			その他(G)		一般財源(A-E-F-G)		
0千円		0千円			0千円		124千円		
【事業の目的】									
幼稚園舎の通常維持補修を行い適正な維持管理を図る。									
【事業の概要】									
○修繕料		100千円							
○補修用資材代		24千円							
[財源内訳]									
○ー									
[主な内容]									
①施設の修繕及び補修									
幼稚園施設等の修繕及び補修を行う。									

予算	会計		一般会計		予算区分		現年	
	款	10 教育費	項	05 社会教育費	目	01 社会教育総務費		
事業名	社会教育事業費				担当課	未来創造課	予算書頁	P172
R7当初予算額(A)		R6当初予算額(B)		増減額(C)=(A)-(B)		増減率(D)=(C)/(B)		
5,895千円		3,643千円		2,252千円		61.8%		
予算額の財源内訳								
国・県(E)		市債(F)		その他(G)		一般財源(A-E-F-G)		
216千円		0千円		0千円		5,679千円		
【事業の目的】								
法及び設置条例に基づき各地区選出の社会教育委員を設置し、社会教育に関する計画の立案や教育委員会からの諮問に対する意見、必要な調査・研究を行うことで、地域の社会活動の維持・充実・成熟を目指す。								
【事業の概要】								
○報酬 2,357千円 ○職員手当等 863千円								
○共済費 508千円 ○報償費 384千円								
○旅費 3千円 ○消耗品費 111千円								
○燃料費 20千円 ○印刷製本費 272千円								
○通信運搬費 59千円 ○筆耕翻訳料 5千円								
○委託料 848千円 ○使用料及び賃借料 95千円								
○負担金 25千円 ○補助金 345千円								
【財源内訳】								
○社会教育指導員設置補助金 216千円								
【主な内容】								
①社会教育委員の設置								
社会教育における諸計画の立案等、教育委員会からの諮問に対する研究調査の実施、社会教育団体等への助言と指導を行う。								
②20歳のつどい 【拡充】 [1,742千円]								
近年インバウンドやSNS等で脚光を浴びている越前大仏を会場とし、インパクトのある勝山市ならではの20歳のつどいを開催する。								
③合宿通学事業費補助								
コロナ禍により実施できていなかったわくわく合宿通学事業を再開し、児童が地域の中での集団宿泊体験を通して地域住民と交流し、文化や体験活動などに親しむとともに、生活習慣の見直しや自主性・自律心の向上等を図る。								

予算	会計	一般会計			予算区分		現年	
	款	10 教育費		項	05 社会教育費	目	01 社会教育総務費	
事業名	生涯学習振興事業費				担当課	未来創造課	予算書頁	P173
R7当初予算額(A)		R6当初予算額(B)		増減額(C)=(A)-(B)		増減率(D)=(C)/(B)		
3,491千円		3,559千円		△ 68千円		△ 1.9%		
予算額の財源内訳								
国・県（E）		市債（F）		その他（G）		一般財源（A-E-F-G）		
0千円		0千円		1,741千円		1,750千円		
【事業の目的】								
市民総合大学並びにさわやか大学による、さまざまな講座の展開により、幅広い世代の学が意欲に応え、健康で生きがいあふれる社会を目指す。								
【事業の概要】								
○報償費		2,328千円		○消耗品費		145千円		
○通信運搬費		28千円		○委託料		990千円		
【財源内訳】								
○参加者負担金		1,741千円						
【主な内容】								
①各種学級による生涯学習								
市民総合大学並びにさわやか大学の開催など、常時学習できる機会を提供する。								
さわやか大学 受講者数 (単位：人)								
R3		R4		R5		R6		R7
127		114		140		155		—
②生涯学習人材バンクの登録								
豊富な知識と技能を有する市民を「勝山市生涯学習人材バンク」に講師として登録し、市民の自主的な学習活動を支援する。								
人材バンク登録者数 39名（令和6年10月現在）								

予算	会計		一般会計		予算区分		現年		
	款	10 教育費	項	05 社会教育費	目	01 社会教育総務費			
事業名	生涯学習センター管理運営費			担当課	未来創造課		予算書頁	P173	
R7当初予算額(A)		R6当初予算額(B)		増減額(C)=(A)-(B)		増減率(D)=(C)/(B)			
11,084千円		10,061千円		1,023千円		10.2%			
予算額の財源内訳									
国・県(E)		市債(F)		その他(G)		一般財源(A-E-F-G)			
0千円		0千円		60千円		11,024千円			
【事業の目的】									
多種多様な学習機会の提供と、幅広い世代の学習環境づくりを目指す生涯学習センター「友楽喜」の管理運営を行う。									
【事業の概要】									
○報酬		5,027千円		○職員手当等		1,928千円			
○共済費		1,138千円		○消耗品費		20千円			
○燃料費		94千円		○光熱水費		725千円			
○修繕料		100千円		○通信運搬費		41千円			
○手数料		35千円		○委託料		898千円			
○使用料及び賃借料		937千円		○負担金		132千円			
○公課費		9千円							
【財源内訳】									
○生涯学習センター使用料		60千円							
【主な内容】									
①生涯学習センターの施設管理									
生涯学習の拠点である生涯学習センターの機能維持を図るための管理運営業務を実施する。									
生涯学習センター利用者数 () はグループ数 (単位：人)									
室	R3		R4		R5		R6(R6.8現在)		R7
講習室	2,302	(27)	2,548	(36)	2,658	(36)	1,337	(20)	— (—)
調理室	0	(0)	0	(0)	152	(8)	73	(8)	— (—)
和室	0	(0)	28	(3)	17	(1)	0	(0)	— (—)
茶室	147	(1)	129	(1)	60	(1)	19	(1)	— (—)
図書室	335	(5)	365	(5)	0	(0)	6	(1)	— (—)
相談室	204	(6)	181	(7)	667	(10)	418	(11)	— (—)
体育館	6,213	(19)	6,483	(16)	6,706	(16)	3,528	(16)	— (—)
その他	2,235	(18)	1,958	(21)	2,192	(32)	1,280	(18)	— (—)
合計	11,436	(78)	11,702	(88)	12,352	(103)	6,660	(73)	— (—)

予算	会計	一般会計		予算区分		現年	
	款	10 教育費	項	05 社会教育費	目	03 市史編さん費	
事業名	市史編さん事業費			担当課	商工文化課	予算書頁	P174
R7当初予算額(A)		R6当初予算額(B)		増減額(C)=(A)-(B)		増減率(D)=(C)/(B)	
3,354千円		6,289千円		△ 2,935千円		△ 46.7%	
予算額の財源内訳							
国・県(E)		市債(F)		その他(G)		一般財源(A-E-F-G)	
0千円		0千円		302千円		3,052千円	
【事業の目的】 勝山市史の編纂と刊行を目的に昭和38年からスタートしている。市内の史資料の収集と保存・管理・整理・調査・研究を行い、史資料の未来への継承を図るとともに、その成果を積極的に伝える。また、市内外の利用者への史資料情報の公開・活用を目指す。							
【事業の概要】 ○報酬 2,112千円 ○職員手当等 810千円 ○共済費 50千円 ○消耗品費 345千円 ○燃料費 8千円 ○備品購入費 29千円							
[財源内訳] ○勝山市史販売代 302千円							
[主な内容] ①史資料の収集と保存・管理、整理、調査・研究 史資料の目録作成、簡易写真撮影を行う。また、勝山の歴史についての問い合わせに対応し、史資料情報の公開・活用を行う。 ②勝山市史等の書籍販売 勝山市史等の書籍の販売を促進し、市内外の方に勝山市の歴史について知ってもらう機会を増やす。							

予算	会計		一般会計		予算区分		現年	
	款	10 教育費	項	05 社会教育費	目	04 文化振興費		
事業名	発掘調査事業費				担当課	商工文化課	予算書頁	P175
R7当初予算額(A)		R6当初予算額(B)		増減額(C)=(A)-(B)		増減率(D)=(C)/(B)		
5,548千円		5,063千円		485千円		9.6%		
予算額の財源内訳								
国・県(E)		市債(F)		その他(G)		一般財源(A-E-F-G)		
1,000千円		0千円		0千円		4,548千円		
【事業の目的】								
市内の埋蔵文化財包蔵地（遺跡）内で行われる開発行為に対し、文化財保護法に則した手続きを行い、埋蔵文化財を適切に保護する。 国史跡白山平泉寺旧境内から出土した木製品や金属製品の適切な保存処理を行い、まほろば等での展示を行う。								
【事業の概要】								
○給料 2,181千円 ○職員手当等 837千円 ○共済費 530千円 ○旅費 11千円 ○消耗品費 112千円 ○委託料 1,591千円 ○使用料及び賃借料 286千円								
[財源内訳]								
○遺跡発掘調査等事業補助金 1,000千円								
[主な内容]								
①遺跡内における開発工事の際の試掘調査 市内の遺跡内で行われる開発行為に対して、重機や発掘調査作業員を用いて試掘調査等を行い、埋蔵文化財を適切に保護する。								
②出土遺物の保存処理 木製品や金属製品は、発見された状態では後世へ維持・保存できない状態のため、科学技術を用いて適切な保存処理を実施し、展示などの活用に耐えられるようにする。								

予算	会計		一般会計		予算区分		現年	
	款	10 教育費	項	05 社会教育費	目	04 文化振興費		
事業名	文化財保護保存修理事業費			担当課	商工文化課		予算書頁	P175
R7当初予算額(A)		R6当初予算額(B)		増減額(C)=(A)-(B)		増減率(D)=(C)/(B)		
23,841千円		9,332千円		14,509千円		155.5%		
予算額の財源内訳								
国・県(E)		市債(F)		その他(G)		一般財源(A-E-F-G)		
0千円		11,900千円		0千円		11,941千円		
【事業の目的】								
指定等文化財の保存管理や文化財指定等の推進、収蔵庫における市が保存する埋蔵文化財や民具等の保存・管理など、文化財を適切に保存管理し、未来へ継承する。								
【事業の概要】								
○報酬	2,343千円		○給料	355千円				
○職員手当等	878千円		○共済費	538千円				
○報償費	310千円		○旅費	78千円				
○消耗品費	295千円		○食糧費	2千円				
○印刷製本費	245千円		○光熱水費	33千円				
○修繕料	397千円		○通信運搬費	54千円				
○委託料	453千円		○使用料及び賃借料	524千円				
○取壊工事費	12,936千円		○備品購入費	4,400千円				
【財源内訳】								
○公共施設等適正管理推進事業債（集約化・複合化事業）				11,900千円				
【主な内容】								
①縄文遺跡等資料室と三室山史跡公園の公開・活用 【拡充】 [168千円] 遅羽まちづくり会館内資料室や史跡公園の公開・活用及び企画展・講演会を行い、地元や市内外の方に勝山市の歴史に興味を持ってもらう機会を作る。								
②文化財の適切な保存・管理 市文化財収蔵庫を活用して、文化財の適切な保存・管理を行う。								
③市指定史跡畑ヶ塚説明リーフレット増刷 南北朝時代の古戦場の歴史を紹介するリーフレット(R4年度作成)を増刷する。								
④市指定比良野家離れ座敷等標柱及び同西光寺大杉解説板修繕 指定文化財の標柱及び解説板の根元・脚部が腐食しているため修繕を行う。								
⑤平泉寺民具保管庫の取り壊し 【新規】 [13,291千円(債11,900千円)] 平泉寺民具保管庫について、老朽化が著しいことから機能を元町書庫へ集約したうえで取壊しを行う。なお、令和7年度より公共施設等適正管理推進事業債（集約化・複合化）に除却事業が追加され、公共施設の集約化を伴う除却事業に交付税措置のある市債が発行できるようになった。								
⑥縄文遺跡等資料室エアコン設置工事 【新規】 [4,400千円] 来館者が資料室で快適に見学できるようにエアコンを設置する。								

予算	会計	一般会計			予算区分		現年	
	款	10 教育費		項	05 社会教育費	目	04 文化振興費	
事業名	日本遺産活用推進事業費				担当課	商工文化課	予算書頁	P176
R7当初予算額(A)		R6当初予算額(B)			増減額(C)=(A)-(B)		増減率(D)=(C)/(B)	
871千円		869千円			2千円		0.2%	
予算額の財源内訳								
国・県(E)		市債(F)			その他(G)		一般財源(A-E-F-G)	
0千円		0千円			0千円		871千円	
【事業の目的】								
令和元年5月20日に認定された、日本遺産「400年の歴史の扉を開ける旅～石から読み解く中世・近世のまちづくり 越前・福井～」について、「福井・勝山日本遺産活用推進協議会」を中心に人材育成や普及啓発、情報発信等の事業を展開しながら、観光振興や地域振興につなげていく。								
【事業の概要】								
○旅費 61千円								
○負担費 810千円								
〔財源内訳〕								
○－								
〔主な内容〕								
①日本遺産活用推進事業								
「福井・勝山日本遺産活用推進協議会」への勝山市負担分。滞在コンテンツを活用したPR、日本遺産フェスや講演会、旅行会社によるツアー、人材育成(認定ガイドの養成、未来の語り部育成)を実施し、観光振興や地域振興につなげる。また、「日本遺産」のイベントのPRブースに参加し、勝山の日本遺産を広報する。								

予算	会計		一般会計		予算区分		現年	
	款	10 教育費	項	05 社会教育費	目	04 文化振興費		
事業名	勝山城博物館連携事業費			担当課	商工文化課		予算書頁	P176
R7当初予算額(A)		R6当初予算額(B)		増減額(C)=(A)-(B)		増減率(D)=(C)/(B)		
2,049千円		1,948千円		101千円		5.2%		
予算額の財源内訳								
国・県(E)		市債(F)		その他(G)		一般財源(A-E-F-G)		
0千円		0千円		200千円		1,849千円		
【事業の目的】								
勝山城博物館の燻蒸庫を利用して、市が所蔵する史資料等の燻蒸を行うとともに、収蔵庫を賃借して、市所有の貴重な文化財等を適切に保管・収蔵する。また、共催展を開催し、市及び市民が所有する史資料の公開展示の場とすることで、歴史に触れる機会を創り出す。								
【事業の概要】								
○使用料及び賃借料		1,199千円						
○負担金		500千円						
○補助金		350千円						
〔財源内訳〕								
○勝山城博物館連携特別展入場料		200千円						
〔主な内容〕								
①勝山城博物館の燻蒸庫の使用及び収蔵庫の借用 燻蒸庫で史資料の燻蒸を行い、特別収蔵庫や一般収蔵庫を借用することで、市の文化財等を適切に保管・収蔵する。								
②勝山城博物館・勝山市連携共催展の開催 連携して共催展を開催することで、市及び市民が所有する史資料の公開の場とし、市内外の方に勝山市の歴史について知ってもらう機会とする。 共催展は御開帳を中心に白山・平泉寺への参詣の歴史をテーマに開催する計画。関連行事として講演会・展示解説・見学会を実施する。								
③絵画等コンテストへの補助 勝山市の文化財や城などを題材とした絵画等のコンテスト事業へ補助を行い、勝山市の歴史的な魅力を広く知ってもらうとともに、再発見する機会とする。								
共催展入場者数 (人)								
	R3	R4	R5	R6	R7			
人数	2,497	3,208	2,446	2,886	-			

予算	会計		一般会計		予算区分		現年	
	款	10 教育費	項	05 社会教育費	目	04 文化振興費		
事業名	旧木下家住宅管理運営費			担当課	商工文化課		予算書頁	P176
R7当初予算額(A)		R6当初予算額(B)		増減額(C)=(A)-(B)		増減率(D)=(C)/(B)		
3,380千円		4,973千円		△ 1,593千円		△ 32.0%		
予算額の財源内訳								
国・県(E)		市債(F)		その他(G)		一般財源(A-E-F-G)		
0千円		0千円		5千円		3,375千円		
【事業の目的】								
国の重要文化財に指定された北郷の庄屋屋敷旧木下家住宅の保存や管理を行い、勝山市における重要な歴史的建造物として市内外の方に広く公開し、地域振興や貴重な観光資源として活用していく。								
【事業の概要】								
○報償費		10千円		○消耗品費		64千円		
○燃料費		4千円		○食糧費		1千円		
○光熱水費		119千円		○修繕料		100千円		
○通信運搬費		33千円		○委託料		3,001千円		
○使用料及び賃借料		38千円		○雪囲材料代		10千円		
[財源内訳]								
○旧木下家住宅使用料		5千円						
[主な内容]								
①旧木下家住宅の保存・管理 旧木下家住宅の適切な保存・管理を行い、重要な歴史的建造物として後世に伝える。 また、建物の直近は除草剤を散布、それ以外の場所は上野区へ草刈りを委託し、敷地内の良好な景観を維持する。								
②旧木下家住宅の公開・活用 活用推進のためのイベント実施を北郷町まちづくり協議会に委託する。								
入館者数 (人)								
	R3	R4	R5	R6 (見込)	R7			
人数	821	735	1,006	1,060	-			

予算	会計		一般会計		予算区分		現年	
	款	10 教育費	項	05 社会教育費	目	04 文化振興費		
事業名	白山平泉寺歴史探遊館管理運営費			担当課	商工文化課		予算書頁	P177
R7当初予算額(A)		R6当初予算額(B)		増減額(C)=(A)-(B)		増減率(D)=(C)/(B)		
14,965千円		15,662千円		△ 697千円		△ 4.5%		
予算額の財源内訳								
国・県(E)		市債(F)		その他(G)		一般財源(A-E-F-G)		
0千円		0千円		93千円		14,872千円		
【事業の目的】								
国史跡白山平泉寺旧境内の総合案内施設である白山平泉寺歴史探遊館「まほろば」において、平泉寺を中心とした歴史や発掘調査成果等をわかりやすく紹介し、市内外の人びとが集い、学び、再発見できる空間にする。また、平泉寺の研究センターとして位置づけて調査・研究を継続的に行い、その成果を積極的に伝えることで博物館としての魅力を高めるとともに、歴史遺産等の未来への継承を図る。								
【事業の概要】								
○報酬		4,887千円		○職員手当等		1,875千円		
○共済費		1,130千円		○報償費		219千円		
○旅費		15千円		○消耗品費		528千円		
○燃料費		35千円		○印刷製本費		474千円		
○光熱水費		2,027千円		○修繕料		80千円		
○通信運搬費		53千円		○委託料		3,459千円		
○使用料及び賃借料		105千円		○雪囲材料代		15千円		
○備品購入費		63千円						
【財源内訳】								
○白山平泉寺歴史探遊館使用料		5千円						
○自動販売機設置・電気料等		32千円						
○白山平泉寺土産物グッズ売上代金		6千円						
○図録販売代金		50千円						
【主な内容】								
①ガイド施設「まほろば」の管理・運営及び調査研究・展示普及								
平泉寺の総合案内施設として適切な維持管理を行い、歴史や発掘成果をわかりやすく紹介・展示し、市内観光情報の提供を行う。また、多くの石を用いて境内を形成することを可能にした技術やそこでのくらしについて、企画展・フォーラム・関連ワークショップ開催、ブックレット発刊等を行い、調査研究の成果を紹介する。								
入館者数 (人)								
	R3	R4	R5	R6 (見込)	R7			
人数	18,651	23,602	30,169	39,139	-			

予算	会計		一般会計		予算区分		現年	
	款	10 教育費	項	05 社会教育費	目	04 文化振興費		
事業名	文化振興事業費			担当課	未来創造課	予算書頁	P178	
R7当初予算額(A)		R6当初予算額(B)		増減額(C)=(A)-(B)		増減率(D)=(C)/(B)		
3,306千円		2,438千円		868千円		35.6%		
予算額の財源内訳								
国・県(E)		市債(F)		その他(G)		一般財源(A-E-F-G)		
0千円		0千円		0千円		3,306千円		
【事業の目的】								
幅広い世代がさまざまな機会を通じて文化活動に触れ、親しむことができる環境をつくることで、文化活動の活性化及び文化水準の向上を目指す。								
【事業の概要】								
○報償費		71千円						
○印刷製本費		368千円						
○委託料		1,432千円						
○補助金		1,435千円						
【財源内訳】								
○ー								
【主な内容】								
①「かつやまWakuWaku文化フェスタ2025」の実施 【拡充】 [1,210千円]								
市民総合文化祭の共催事業として開催する。市民会館を中心に、教育会館も含めて、エリア全体で賑わいのあるかつやまWakuWaku文化フェスタを開催する。また、これまで別日に開催していた展示発表と芸能発表を同時に開催することで、一度により多くの文化芸術に触れる機会を創出する。								
②市民総合文化祭の実施								
「かつやまWakuWaku文化フェスタ2025」の共催事業として実施する。								
③芸術劇場文化講演会補助金 【新規】 [1,350千円]								
平成29年度以来の勝山市文化協会主催の芸術劇場に対して補助する。								
まつり芸能集団「田楽座」を選出し、市内の団体との共演を企画することにより、若い世代から高齢者まで、多くの市民にとって魅力的な公演を行う。								

予算	会計		一般会計		予算区分		現年	
	款	10 教育費	項	05 社会教育費	目	04 文化振興費		
事業名	史跡整備費			担当課	商工文化課		予算書頁	P178
R7当初予算額(A)		R6当初予算額(B)		増減額(C)=(A)-(B)		増減率(D)=(C)/(B)		
12,886千円		10,481千円		2,405千円		22.9%		
予算額の財源内訳								
国・県(E)		市債(F)		その他(G)		一般財源(A-E-F-G)		
5,152千円		0千円		2千円		7,732千円		
【事業の目的】								
国史跡白山平泉寺旧境内(約200ha)の保存管理について、史跡白山平泉寺旧境内調査整備指導専門家会議の指導・助言を得ながら各種事業を進める。また、史跡内で行われる現状変更について、適切に対応し、国史跡のより良い保存管理に努める。 史跡公有地化エリアや南谷発掘整備地の適切な保存管理と環境美化に努める。								
【事業の概要】								
○報酬 2,470千円 ○職員手当等 948千円								
○共済費 570千円 ○報償費 71千円								
○旅費 184千円 ○消耗品費 194千円								
○燃料費 193千円 ○食糧費 1千円								
○光熱水費 198千円 ○修繕料 674千円								
○手数料 27千円 ○委託料 7,233千円								
○使用料及び賃借料 6千円 ○敷砂利等代 40千円								
○負担金 60千円 ○公課費 17千円								
〔財源内訳〕								
○行政財産目的外使用料 2千円								
○歴史生き生き史跡等総合活用整備事業補助金 4,467千円								
○国県指定文化財保存修理等補助金 685千円								
〔主な内容〕								
①史跡エリア公有地化や南谷発掘整備地の適切な保存管理や環境美化 適切な保存管理や環境美化により、来訪者の利便性を高め、史跡に触れる機会をつくる。								
②見学路・水路整備に伴う発掘調査で出土した遺物整理及び見学路整備の設計業務委託 【新規】 [8,934千円(国4,467千円・県685千円)] 令和6年度に行われた国史跡白山平泉寺旧境内の見学路・水路整備に向けた発掘調査により出土した遺物整理を行うとともに、見学路・水路整備を行うための設計業務を委託する。								
③史跡内で行われる現状変更への対応 適切に対応し、国史跡のより良い保存管理に努める。								

予算	会計		一般会計			予算区分		現年		
	款	10	教育費	項	05	社会教育費	目	05	図書館費	
事業名	図書館管理運営費					担当課	図書館		予算書頁	P179
R7当初予算額(A)		R6当初予算額(B)			増減額(C)=(A)-(B)		増減率(D)=(C)/(B)			
64,908千円		30,106千円			34,802千円		115.6%			
予算額の財源内訳										
国・県(E)		市債(F)			その他(G)		一般財源(A-E-F-G)			
40千円		24,300千円			99千円		40,469千円			
【事業の目的】										
社会情勢や生活に役立つ題材をテーマとした関連図書の特集や庁内関係課と連携した企画を実施する。図書館まつりを開催して、今まで図書館を利用したことがなかった方にも多く来館していただけるように努める。また、ブックスタート事業・図書館や子育て支援センターでの乳幼児向けの読み聞かせなど対面式でのアプローチにより低年齢から本と触れ合う機会を設ける。さらに学校図書館の整備、こども園・学校・まちづくり会館などへの団体貸出・情報共有など関係機関との連携により乳児から高齢者まで切れ目のないサービスを提供する。加えてワンストップでの問題解決や生活に役立つ図書のレファレンスにも応える。そして、エレベーターリニューアル工事実施設計業務委託及び照明LED化改修工事を実施し、ハード面からも読書環境を整える。このように図書館の特性を生かしながら市民のニーズを捉え、図書館を本に親しむ空間として利用促進するとともに資料、情報及び環境を整備し、魅力ある図書館となるよう事業の推進に努める。										
【事業の概要】										
○一般職給		726千円			○報酬		12,213千円			
○職員手当等		4,677千円			○共済費		2,882千円			
○報償費		155千円			○消耗品費		586千円			
○燃料費		41千円			○食糧費		3千円			
○光熱水費		5,658千円			○修繕料		100千円			
○通信運搬費		184千円			○委託料		5,611千円			
○使用料及び賃借料		6,197千円			○改修工事費		25,600千円			
○雪囲材料代		20千円			○備品購入費		232千円			
○負担金		23千円								
〔財源内訳〕										
○行政財産目的外使用料							20千円			
○自動販売機設置・電気料等							36千円			
○図書コピーサービス代							43千円			
○母子保健衛生費補助金							40千円			
○公共施設等適正管理推進事業債(長寿命化事業)							700千円			
○脱炭素化推進事業債(図書館整備事業)							23,600千円			
〔主な内容〕										
①図書館の維持・管理 図書館の適正な維持・管理を行う。										
②ブックスタート事業の推進 生後6ヶ月～1歳6ヶ月の乳児と保護者を対象としたブックスタート事業を推進する。										
【次頁へ】										

	会計		一般会計		予算区分		現年		
	款	10	教育費	項	05	社会教育費	目	05	図書館費
事業名	図書館管理運営費				担当課	図書館		予算書頁	P179
R7当初予算額(A)		R6当初予算額(B)		増減額(C)=(A)-(B)		増減率(D)=(C)/(B)			
64,908千円		30,106千円		34,802千円		115.6%			
予算額の財源内訳									
国・県(E)		市債(F)		その他(G)		一般財源(A-E-F-G)			
40千円		24,300千円		99千円		40,469千円			
【前頁より】									
③図書館まつりの開催 図書館まつりを開催し、今まで図書館を利用したことがなかった方にも来館していただき、今後新たな利用者となるよう努める。									
④備品(学習室用机・ブックトラック・大型絵本スタンド)を購入して利用者に快適な読書空間を提供する。									
⑤エレベーターリニューアル工事実施設計業務委託 【新規】[836千円(償700千円)] エレベーターのリニューアル工事を実施するための実施設計業務委託を行い、エレベーターのリニューアルをして適正な施設の維持管理に努める。									
⑥照明のLED化改修工事 【新規】[26,304千円(償23,600千円)] 照明のLED化改修を実施し、市民サービスの向上、財政負担の軽減、脱炭素社会の実現、地域経済の活性化及び職員の業務の効率化を図る。									

予算	会計		一般会計			予算区分		現年		
	款	10	教育費	項	05	社会教育費	目	05	図書館費	
事業名	図書館資料費					担当課	図書館		予算書頁	P181
R7当初予算額 (A)			R6当初予算額 (B)			増減額 (C) = (A) - (B)		増減率 (D) = (C) / (B)		
7,216千円			7,130千円			86千円		1.2%		
予算額の財源内訳										
国・県 (E)			市債 (F)			その他 (G)		一般財源 (A-E-F-G)		
0千円			0千円			5千円		7,211千円		
【事業の目的】 新刊図書・基本参考図書・郷土資料・視聴覚資料・新聞・雑誌等の購入及び管理により市民ニーズに対応した図書資料の充実を図る。										
【事業の概要】 ○消耗品費 1,042千円 ○委託料 274千円 ○備品購入費 5,900千円										
[財源内訳] ○図書資料弁償代金 5千円										
[主な内容] ①図書資料の充実 新刊図書・基本参考図書・郷土資料・視聴覚資料・新聞・雑誌等の購入及び管理を行い、市民ニーズに対応した図書資料の充実を図る。										

予算	会計		一般会計		予算区分		現年		
	款	10 教育費	項	06 保健体育費	目	01 保健体育総務費			
事業名	スポーツ推進委員会費			担当課	健康体育課		予算書頁	P181	
R7当初予算額(A)		R6当初予算額(B)		増減額(C)=(A)-(B)		増減率(D)=(C)/(B)			
1,066千円		1,363千円		△ 297千円		△ 21.8%			
予算額の財源内訳									
国・県(E)		市債(F)		その他(G)		一般財源(A-E-F-G)			
0千円		0千円		0千円		1,066千円			
【事業の目的】									
市民が、自身の健康管理と体力向上に関心を持つよう、スポーツ推進委員が中心になって、スポーツイベントや教室の企画・立案・実施や体力測定を行い生涯スポーツを推進する。									
【事業の概要】									
○報酬		927千円		○旅費		103千円			
○通信運搬費		12千円		○使用料及び賃借料		5千円			
○負担金		19千円							
【財源内訳】									
○ー									
【主な内容】									
①スポーツ推進委員の委嘱 2年任期で22人を委嘱。(2年目)									
②各種スポーツ行事に協力 各地区で開催されるニュースポーツ体験会へ指導者を派遣し、生涯スポーツを推進する。高齢者体力測定を実施し、体力向上の意識を高める。									
③研修会へ参加 北陸地区スポーツ推進委員研修会、福井県スポーツ推進委員研修会へ参加し、生涯スポーツを指導するための技術と知識を高める。 市スポーツ推進委員会で各種生涯スポーツの研修を行い相互に技術と知識を共有する。									
スポーツ推進委員派遣依頼数 (回)									
	R3		R4		R5		R6 (見込)		R7
依頼回数	4		3		5		5		ー

予算	会計		一般会計		予算区分		現年	
	款	10 教育費	項	06 保健体育費	目	01 保健体育総務費		
事業名	体育総務諸経費			担当課	健康体育課		予算書頁	P182
R7当初予算額(A)		R6当初予算額(B)		増減額(C)=(A)-(B)		増減率(D)=(C)/(B)		
19,233千円		16,405千円		2,828千円		17.2%		
予算額の財源内訳								
国・県(E)		市債(F)		その他(G)		一般財源(A-E-F-G)		
0千円		0千円		0千円		19,233千円		
【事業の目的】								
市民の誰もが楽しくスポーツに取り組めるよう、市のスポーツ振興の事務を適正に行う。								
【事業の概要】								
○報酬		11,635千円		○職員手当等		3,678千円		
○共済費		2,591千円		○旅費		47千円		
○燃料費		67千円		○修繕料		71千円		
○通信運搬費		36千円		○手数料		397千円		
○委託料		530千円		○使用料及び賃借料		54千円		
○負担金		10千円		○補助金		110千円		
○公課費		7千円						
[財源内訳]								
○ー								
[主な内容]								
①スポーツ振興の適正な事務 必要な職員を配置し、円滑かつ効率的な体育総務に努める。								
②広域スポーツ大会事業への補助 広域で開催されるスポーツ大会の運営に補助し、競技力の向上を図る。								
③体育施設の受付を電子申請及び電子決済で対応し、利用者の利便性を高める。								

予算	会計		一般会計		予算区分		現年	
	款	10 教育費	項	06 保健体育費	目	02 体育施設費		
事業名	屋内体育施設管理運営費			担当課	健康体育課		予算書頁	P182
R7当初予算額(A)		R6当初予算額(B)		増減額(C)=(A)-(B)		増減率(D)=(C)/(B)		
8,017千円		42,428千円		△ 34,411千円		△ 81.1%		
予算額の財源内訳								
国・県(E)		市債(F)		その他(G)		一般財源(A-E-F-G)		
0千円		0千円		552千円		7,465千円		
【事業の目的】								
屋内体育施設（B＆G海洋センター、林業者健康トレーニングセンター、市営温水プール）を適正に維持管理することにより、生涯スポーツができる環境を整備する。								
【事業の概要】								
○報償費		55千円		○旅費		164千円		
○消耗品費		1,500千円		○燃料費		9千円		
○光熱水費		1,091千円		○修繕料		960千円		
○通信運搬費		65千円		○委託料		3,129千円		
○使用料及び賃借料		811千円		○補修用資材代		13千円		
○備品購入費		176千円		○負担金		44千円		
[財源内訳]								
○屋内体育施設使用料				446千円				
○行政財産目的外使用料				12千円				
○自動販売機設置・電気料等				50千円				
○B＆G財団海と日本プロジェクト活動助成金				44千円				
[主な内容]								
①B＆G海洋センターの管理運営 B＆G海洋センターを適正に管理し、生涯スポーツができる環境を整備する。								
②林業者健康トレーニングセンターの管理運営 林業者健康トレーニングセンターを適正に管理し、生涯スポーツができる環境を整備する。								
③市営温水プールの管理運営 指定管理を継続し、市営温水プールを適正に管理し、生涯スポーツができる環境を整備する。								
④砂 ASO Beach 海と日本プロジェクトの開催 【新規】 [44千円] 「海の日」と「海の安全」への理解を深めるため、砂 ASO Beach（様々な水辺のレクリエーション）を開催する。								
⑤DAYキャンプ体験 【新規】 [43千円] キャンプに興味のある親子を対象に、郷土教育を目的にキャンプの楽しさや、フィールドワークを実施する。								
利用人数 (人)								
	R3	R4	R5	R6(見込)	R7			
温水プール	42,993	38,718	44,779	40,000	—			
B＆G海洋センター	9,792	11,835	10,703	10,000	—			
林業者健康トレーニングセンター	3,663	3,136	4,397	3,500	—			

予算	会計		一般会計		予算区分		現年	
	款	10 教育費	項	06 保健体育費	目	02 体育施設費		
事業名	屋外体育施設管理運営費			担当課	健康体育課		予算書頁	P183
R7当初予算額(A)		R6当初予算額(B)		増減額(C)=(A)-(B)		増減率(D)=(C)/(B)		
5,592千円		5,301千円		291千円		5.5%		
予算額の財源内訳								
国・県(E)		市債(F)		その他(G)		一般財源(A-E-F-G)		
0千円		0千円		280千円		5,312千円		
【事業の目的】								
屋外体育施設（市営庭球場、長山公園グラウンド、北部中学校ナイター施設、弁天グラウンド、あさひ公園グラウンド、長尾山総合公園クロスカントリーコース）を適正に維持管理することにより、生涯スポーツができる環境を整備する。								
【事業の概要】								
○消耗品費		171千円		○燃料費		7千円		
○光熱水費		3,144千円		○修繕料		200千円		
○手数料		2千円		○委託料		863千円		
○修繕工事費		800千円		○補修用資材代		65千円		
○備品購入費		340千円						
[財源内訳]								
○屋外体育施設使用料		280千円						
[主な内容]								
①市営庭球場の管理運営 市営庭球場を適正に管理し、生涯スポーツができる環境を整備する。								
②長山公園グラウンド、弁天グラウンド等の管理運営 長山公園グラウンド、弁天グラウンド、北部中学校ナイター施設、あさひ公園グラウンドを適正に管理し、生涯スポーツができる環境を整備する。								
③長尾山総合公園クロスカントリーコースの備品整備 長尾山総合公園クロスカントリーコースのレンタル用クロスカントリースキー用品を整備し、利用者の利便性を高める。								
④長山公園グラウンドの備品整備 グラウンドを快適でより良い状態に保つため、グラウンドを整地するのに必要な備品を整備する。								

予算	会計		一般会計		予算区分		現年	
	款	10 教育費	項	06 保健体育費	目	02 体育施設費		
事業名	勝山市体育館管理運営費			担当課	健康体育課		予算書頁	P184
R7当初予算額(A)		R6当初予算額(B)		増減額(C)=(A)-(B)		増減率(D)=(C)/(B)		
26,257千円		26,071千円		186千円		0.7%		
予算額の財源内訳								
国・県(E)		市債(F)		その他(G)		一般財源(A-E-F-G)		
0千円		0千円		6,822千円		19,435千円		
【事業の目的】								
勝山市体育館「ジオアリーナ」を適正に維持管理することにより、生涯スポーツの環境としてばかりでなく、大きな競技スポーツが開催できる環境、また、その他イベントができる環境として整備する。								
【事業の概要】								
○消耗品費		369千円		○燃料費		122千円		
○光熱水費		15,955千円		○修繕料		400千円		
○通信運搬費		130千円		○手数料		18千円		
○委託料		9,051千円		○使用料及び賃借料		82千円		
○施設用資材代		30千円		○備品購入費		100千円		
[財源内訳]								
○勝山市体育館使用料		6,600千円						
○行政財産目的外使用料		33千円						
○自動販売機設置・電気料等		188千円						
○施設公衆電話料		1千円						
[主な内容]								
①勝山市体育館の施設管理								
生涯スポーツの環境ばかりでなく、競技スポーツの環境やその他イベント会場として、勝山市体育館を適正に管理する。								
利用人数 (人)								
	R3	R4	R5	R6(見込)	R7			
ジオアリーナ	79,697	87,355	87,837	100,000	—			

予算	会計		一般会計		予算区分		現年	
	款	10 教育費	項	06 保健体育費	目	03 体育振興費		
事業名	勝山恐竜クロカンマラソン事業費			担当課	健康体育課	予算書頁	P185	
R7当初予算額(A)		R6当初予算額(B)		増減額(C)=(A)-(B)		増減率(D)=(C)/(B)		
15,102千円		14,620千円		482千円		3.3%		
予算額の財源内訳								
国・県(E)		市債(F)		その他(G)		一般財源(A-E-F-G)		
0千円		0千円		12,805千円		2,297千円		
【事業の目的】								
クロカンマラソンを開催することで、市民の健康増進を図るとともに、勝山市の魅力を県内外に発信する。								
【事業の概要】								
○委託料 15,102千円								
[財源内訳]								
○参加者負担金 4,805千円								
○スポーツ振興くじ助成金 8,000千円								
[主な事業]								
①クロカンマラソンの開催 ジオアリーナから平泉寺方面をコースとしたマラソン大会を開催する。								
②第21回特別ゲストランナーの招聘 第20回大会と同様、毎回来ていただいている君原健二氏と川内優輝・侑子ご夫妻を招聘する。								
勝山恐竜クロカンマラソン (件)								
	R3	R4	R5	R6	R7(予算)			
エントリー数	中止	1,313	1,433	1,636	1,900			

予算	会計		一般会計		予算区分		現年	
	款	10 教育費	項	06 保健体育費	目	03 体育振興費		
事業名	スポーツ振興事業費			担当課	健康体育課		予算書頁	P185
R7当初予算額(A)		R6当初予算額(B)		増減額(C)=(A)-(B)		増減率(D)=(C)/(B)		
3,427千円		6,363千円		△ 2,936千円		△ 46.1%		
予算額の財源内訳								
国・県(E)		市債(F)		その他(G)		一般財源(A-E-F-G)		
0千円		0千円		0千円		3,427千円		
【事業の目的】								
競技スポーツの向上と市民のスポーツへの参加する機運を高めるため、全国大会等出場選手激励、学校施設開放、スポーツライフ推進関連の大会、教室などを開催する。								
【事業の概要】								
○報償費 1,050千円 ○消耗品費 45千円								
○通信運搬費 28千円 ○委託料 2,204千円								
○備品購入費 100千円								
[財源内訳]								
○ー								
[主な事業]								
①全国大会等への出場選手、監督の激励								
②スポーツライフ推進事業委託 子どもから大人まで参加できる各種競技大会や教室を開催する。								
③学校施設開放 学校の体育施設を社会体育で利用できるように開放する。								
④こども相撲大会の開催 地区対抗相撲大会の開催に合わせてこども相撲大会を開催する。								
全国大会等出場人数						(件)		
	R3	R4	R5	R6(見込)	R7			
全国大会	110	111	137	100	ー			
国際大会	1	1	6	2	ー			

予算	会計		一般会計		予算区分		現年	
	款	10 教育費	項	06 保健体育費	目	03 体育振興費		
事業名	市民体育大会開催事業費			担当課	健康体育課	予算書頁	P186	
R7当初予算額(A)		R6当初予算額(B)		増減額(C)=(A)-(B)		増減率(D)=(C)/(B)		
1,360千円		1,361千円		△ 1千円		△ 0.1%		
予算額の財源内訳								
国・県(E)		市債(F)		その他(G)		一般財源(A-E-F-G)		
0千円		0千円		0千円		1,360千円		
【事業の目的】								
市民体育大会の開催により、市民が競技スポーツを行う機会提供と、競技力の向上を図る。								
【事業の概要】								
○委託料 1,360千円								
[財源内訳]								
○ー								
[主な事業]								
①各種スポーツ競技大会の開催								
市スポーツ協会に委託し、各種スポーツ競技大会を開催する								
総合の部 11競技(地区対抗)								
普及の部 13競技								
市民体育大会参加人数								
	R3	R4	R5	R6(見込)	R7(予算)			
総合(競技)	2	9	11	11	11			
普及(競技)	8	12	13	13	13			
参加者(人)	434	1,331	1,264	1,542	ー			